[第三種郵便物認可]
新京日日新聞
夕刊　一月二十六日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 ／ 廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話（編輯局專用）（營業局專用）
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

吳佩孚蹶起の要望 全支那に昂まる

王、溫兩氏も私邸を訪問

【北京廿五日發國通】近衞聲明に次ぐ汪精衞聲明により蔣政權內部の動搖は日を逐ふて深刻化しつゝある

温宗堯の兩氏が吳氏を訪問會談をとげた、これに對して吳氏は未だ

一方

一年有半に亘る戰亂によつて全支那民衆が蒙つた悲慘な經驗は一日も早き和平への翹望となり、その具體的なる事實として元老の蹶起要請は今や中國各地民衆の血の叫びと化するに至つた、就中中國各將領の最高峰に位する吳佩孚に對する出馬懇請は最近急激に熾烈化し、廿五日發せられた全國鐵路協會、全國郵務工會、全國航運工會以下各團體の出馬要請電は全國に通電されると共に北京什錦花園の吳私邸は蹶起を求める各團體の代表によつて埋められてゐる有樣で、十數年に亘る吳邸の靜寂は引もきらぬ自動車の往來で大混雜を呈してゐる、この空氣を反映して王克敏、梁鴻志兩巨頭打揃つての訪問につゞいで、更に廿五日は臨時政府內政部總長王揖唐、同立法院長

何等

の具體的回答を發してはゐない

が、民衆の聲高揚するところ結局蹶起の決意を固めたものと見られる、吳氏に對する國民の信賴は勿論、その高潔と識見とに負ふものであるが、同氏が目下全國にある反蔣的將領ならびにその去就に迷ひつゝある將領に對して有つ巨大な影響力が時局の收拾に重大な轉機を畫し得る點から來るものでその蹶起は瀕死の蔣政權に深刻な打擊を與へることは明かである、二十五日に

發せられた出馬要請の一例を示せば左の通り、なほこの外上海孔教會、同國學研會、中華學藝會、中國內海航運公會等も同樣通電を發してゐる

吳佩孚閣下
全國鐵路協會
全國郵務工會
全國航運工會

蔣政府は一黨專制以來政治を逆用し善隣と恨を構え遂に戰火を交ふるに至る、國家の大難を顧みず私心を以て濫用し交戰以來一年有餘彼等は遂に

遠隔

の地に潰走し軍を空しうして土地を失ひ國を恥かしめ民を禍ひせしこと大なるものあり、勝利の時期は望みなく滅亡は眼前に迫る、これを思ふとき廣く人民の心情を徵求し一致團結して相俱に救國の精神をもつて自治を圖り和平に努め以て國家を救濟すべきなり、勳なれば我が中國民衆の苦痛を御考慮の上出馬されんことを冀ふものなり、既に衰へたる時勢を挽回し、水火の苦に陷りたる萬民を救濟し、天下に號令して全國を響應せしめられたし、恐れながら愚見を呈し御許可を願ふと共に御返電を待つ

「眞の民意を察知せば 蹶然出馬せん」

＝吳佩孚側近者語る＝

【北京廿五日發國通】吳佩孚將軍の出馬を要請する各方面の代表者の殺到で日頃人通りさへ稀な什錦花園の

露路

は自動車で埋まり、吳私邸はこれら代表のため應接間は勿論書齋、食堂に至るまで坐る處もない混雜ぶりを見せ全國各團體からの蹶起要請通電は机上に山積し邸內は盆と正月が一時に來たやうな騷ぎである この中にあつて吳將軍は徐ろに大勢の向ふところを靜觀しつゝあるのか容易に態度を表明せず興望を擔ひつゝも平素と變らず讀經に心氣を濟ましてゐるのも奧床しい、吳佩孚將軍の心境をその側近者にたゞけば

眞の和平救國のためなら一身の毀譽褒貶などは顧みるところでないといふのが將軍の平素からの信念です、今回の全國的の出馬要請に對してはまた何等の意思表示もされないが眞にこれが天意であり民意であると感得されたら勿論十數年來の沈默を破つて決然として蹶起され、大きく躍り出し和平救國のため阿修羅の奮鬪をされることゝ信じます、將軍の昨今は靜かに天意民意の向ふ處をみつめて居られるといふところです、何れにせよ雨か風かはこゝ數日中には決るでせう

と語つた、各會を通じての出馬要請熱に響應して吳佩孚將軍の出馬決定は時間の問題とみられるに至つかたくて國民黨の元老文治派の巨頭たる汪精衞の南方よりする和平通電に照應し實力派の巨頭として

隱然

重きをなしてゐる吳佩孚將軍の蹶起が實現すれば全中國和平休戰の激論は決定的となり大勢は定まると見るを得、こゝ數日中の吳氏の動向こそ極めて注目に値する

フランコ軍遂に バルセロナに突入

【ブルゴス廿五日發國通】廿四日午前フランス國境アンデイに到達したフランコ軍側の公報に依ると、フランコ軍の先鋒は廿五日拂曉遂にバルセロナに突入したと云はれる

程潛洛陽を逃走

【〇〇基地廿五日發國通】わが荒鷲が廿五日再空襲した洛陽には第一戰區首領西北防衞主任程潛がをり敵陣營內には程潛專用の堅牢の設備もあると云はれるが、我軍の空爆に極度に脅威を感じ早くも洛陽を逃出し、西安近郊の部落にありと云はれる

侵略行動に對しては 斷乎排擊の用意あり

豫算總會で板垣陸相答辯

【東京國通】廿五日午後の衆議院豫算總會で提唐次郞氏のソ支二正面作戰の意識及びこれと事變處理との關係、ソ聯に對する帝國の覺悟などに關する質問に對し、板垣陸相は帝國の公明なる態度と、軍としての決意を左の如く率直に答辯して帝國の之に對する根本方針を明かにした（速記）

變轉極りなき國際情勢に應じ特に又この支那事變を中心とする所の東亞の新事態に即應するためには國家總力就中、國防の充實を期することの必要であると云ふことは申すまでもないことでありますが、先般の軍需產業關係者の會合に於て申述べました所も、只今提君から御話のありました件は一ソ支二正面の武力同時作戰を準備するの必要一即ちその國防力を充實する、これに關係ある所の軍需を充實すると云ふがためにそこに一つの軍備となるべき所の基準を與へると云ふのが眞意であります

何れの國に於きましても國防を充實し軍備を建設すると云ふがためにはそこに一定の目標がなければならぬと思ふのであります、その目標なしに漠然と軍備充實を圖ると云ふやうなことはこれはもとより愼まねばならぬことでもあり、又不可能のことでもあるのでります

これをヨーロッパ諸國の例に見ましても或は二方面標準の軍備と云ひ、或は又數正面作戰の準備と云ひ、又殊にソヴイエト聯邦の如きは東西兩正面間同時獨立作戰、こう云ふやうなことを申して居るのであります、これは即ち軍備の建設に目標を與へると云ふ例であります、準據となるべき基準と申すのもこの意味に外ならないのであります

今後時局解決の要決と致しましては、國家の總力を自ら養ふと云ふことが最も必要だと云ふことは前にも申した通りであります即ち國家の政策と致しましては國民精神を昂揚すること、軍備を充實すること、又生產力を擴充すること、國內の貿易を振興すること、國內の調整を行ふと云ふやうなことが必要であつて、これらを重要政策としてこれに國家の總力を集中しなければならぬと考へるのであります

只今この時局に際しまして支那事變の解決と云ふことに主力を傾注してゐると云ふことはこれは申すまでもないことでありまして、又帝國の確固不動の方針であると考へるのであります

然しながらこの事變の完成と云ふこと、この作戰準備と云ふことは實は密接な關係を持つものでありまして二つのやうではありますけれども實は一の事柄と考へて差支へないのであります、かく信ずるのであります、只今の時局と致しましては斯う云ふ考へを持つて國民と一致いたして如何なる困難をもこれを突破すると云ふ物心兩面の覺悟と軍備が必要である、こう云ふことを痛切に感ずる次第であります、只今の堤君の御意見に對しましては全く御同感であります、私よりも重ねて申上げますが、陸軍と致しましては只今の狀況に於てわが方より進んでソヴイエトに對して故なくして進擊をすると云ふ考へは毛頭ありません、又彼等の不當なる所の侵略行動に對してはもとより軍としてこれを排擊すると云ふ充分なる用意を持つてゐると云ふ所信を重ねてこゝに表明致して御答へとする次第であります

如何なる障碍も排除 漁業交涉成立に邁進

好富駐ソ書記官着京談

日ソ漁業問題に關し本省と打合せのため歸朝の途にある駐ソ大使館書記官好富正臣氏、同書記生高杉登氏と同道、廿四日國際列車でモスクワより滿洲里經由あじあで着京したが、廿五日漁業問題ならびに最近のソ聯國內の情勢につき左の如く語つた

ソ聯側の不誠意で年內に妥結を見なかつた日ソ漁業交涉は各方面より成行を注目されてゐるが、我方としては正當なる條約に基く權益として如何なる障碍をもこれを排除しあくまで交涉成立に邁進する覺悟である、ソ聯側としても我方の正當なる要求を最後まで拒否する事はないだらうソ聯の支那事變に對する態度には最近特に取立てゝ指摘すべき變化はないが依然として援蔣政策を續けてゐる、國內最近のトピックは勞働手帳制度の實施である、これは最近勞働者の遲刻、怠業、轉業が甚だしいのでこれを防止するため實施されたのであるが、かゝる勞働者の傾向は突如として起つたものでなく革命以來のもので一概に肅淸の影響と斷ずることは早計である、要するに第一次第二次五年計畫で人も機械も共に最大限度まで使ひ果したが更に生產力の向上を必要とするので窮餘の一策として案出したものと見てゐる、勞働者の移動が激しいのは長く一ヶ所に働いてゐても賃銀が同率である爲と勞働者の總てがお互に同志であることから上下の相剋絕えぬことに原因するやうだ、此勞働手帳制度は當初一月十五日までに國內二千五百萬勞働者全部の手帳登錄完了を目指したのが不成功に終り十日間延期して恰度今廿五日までと改めた、果して今日までに全部出來上つたかどうか判きりしない

產業五ヶ年計畫 豫定通り遂行可能

星野長官日本側と折衝完了

【東京國通】星野總務長官は東上以來日本政府當局との間に日滿經濟會議を開いて滿洲國產業開發五ヶ年計畫遂行に必要なる資金ならびに人的物的資源の日本よりの供給分につき打合せを行ふとゝもに更にわが滿洲移民問題に關しても打合せを行つたが、大體既に各問題につき一應の諒解に到達したので廿八日東京發旅客機で新京に歸任することゝなつた、而して星野總務長官と日本當局との折衝結果は本年における滿洲國の豫定計畫は何等修正を要せず、そのまゝ遂行し得られるとの見透しが確立されるに至つたので滿洲國の產業五ヶ年計畫は本年度において飛躍的發展を豫想される

ハンブルグ滿洲國總領事館 開館披露

【ハンブルグ廿四日發國通】ハンブルグ滿洲國總領事館では安集雲總領事の着任を迎へて二十三日同館にドイツ政府を始め承認各國外交關係者及び民間有力者を招待し開館披露宴を張つたが八十餘名の名士出席、盛會であつた

シンガポールの邦人壓迫 英政府へ抗議

【ロンドン廿五日發國通】重光駐英大使は本省の訓令に基づき廿五日午後英國外務省にハリファックス外相を訪問、シンガポールにおける在留邦人の不法監禁ならびに邦人家宅に對する不法手入れに對し抗議した、特に重光大使は海峽植民地政廳が神經過敏となり在留邦人に對し不當に猜疑心を懐き兎角スパイ扱ひをする傾きがあり邦人の旅行、居住に對し極端な制限が加へられてゐることを指摘した

閣議決定事項

政府では二十六日午後二時より第四次國務院會議を開催し
一、豫算外國庫の負擔となるべき契約に關する件
二、人事事項
を附議決定した、第一項は滿洲重工業の社債二千萬圓發行に關しこれが發行を容易ならしむるため政府が元利金を補償する必要によるものでこれにより滿業の社債發行は急速に具體化するものとみられてゐる、閣議人事第四次臨時國務院會議人事決定事項は左の通りで國立中央博物館の新設に伴ふ陣容の整備及び營繕需品局の機構擴充による宮廷造營科長の簡任昇敍である

任建國大學教授、敍簡任二等（元橫濱高等商業學校生徒主事兼教授）岡野鑑記
總務廳事務官 兼民生部事務官 遠藤隆次
任國立中央博物館學藝官、敍簡任二等（廿六日附）營繕需品局技正 宮廷造營科長 藤島哲三郎
建國大學教授 向井照
昇敍簡任二等（廿六日附）

獨西文化協定 調印完了

【ブルゴス廿四日發國通】フランコ政權は過般來ドイツ政府と文化協定締結交涉を行つてゐたが、遂に交涉成立、廿四日正午スペイン駐在ドイツ大使エーベルハルト・フォン・ストーラー氏はフランコ政權外相フランシスコ・ゴメズヨルダナ氏との間に協定調印を了した、協定內容左の通り
一、ドイツ、スペイン兩國にそれ／″＼相手國文化研究所を創設する
一、兩國はそれ／″＼相手國々語の敎育を擴大する
一、兩國學生を交換する
一、フランコ政權はスペイン政權領域に於てドイツ外交官がドイツ式敎育をもつて開設してゐるドイツ人學校をそのまゝ有效と認る
一、兩國における政治的逃亡者の出版活動を禁止する

駐日大使館に理事官、職員增派

政府は日滿物動計畫を根幹とする兩國經濟關係の緊密化に對處し專ら政府間の連絡事務に當らしめるため今回駐日大使館に理事官一名、他職員數名を增派することに決し、これに伴ふ官制改正案を來週の國務院會議に上程、可決の上近く勅令を公布、實施の豫定である

滿波領事交換 關係法規改正

政府はさきにポーランド政府との領事交換取極めに從ひワルソーに總領事館を開設することに決定を見たが、右に要する關係法規の改正案を來週月曜日の定例國務院會議に附議することになつた、改正法案は現行領事館職員定員令及び領事館所在地指定の件の改正を內容としたものであるが政府としては對ポーランド關係の將來性乃至は同國を中心とする歐洲政局の動向を重要視し、總領事には簡任級の人材を任命する筈で事實上の公使館と見做すべきものを置くことゝならう

人事往來

着京

▲黑田潔氏（國際文化協會理事）二十五日來京ヤマトホテル
▲福永涉氏（貿易商）同
▲梅津忠良氏（會社員）同
▲宗像金吾氏（同）同
▲吉村男也氏（官吏）同
▲蒲田修氏（同）同
▲飯田三郎氏（延和金鑛）國都ホテル
▲受川金次郎氏（官吏）都ホテル
▲山崎幸太郎氏（協和建物）同
▲富田長次郎氏（滿洲林業）同
▲木村鐵藏氏（建築業）中央ホテル
▲今井構造氏（大朝社員）大都ホテル
▲太田稔氏（滿鐵社員）同
▲長峯大吉氏（會社員）同
▲佐々木信一氏（木材商）同
▲高芝末松氏（野村生命）同
▲多田敎由氏（航空會社）同
▲吉田九平氏（滿鐵社員）同
▲前田國彥氏（會社員）同
▲藤原慶四郎氏（商業）ニューアジアホテル
▲川上四之助氏（會社員）同
▲川邊友一氏（同）同
▲須田英雄氏（會社員）滿蒙ホテル
▲酒井秀助氏（滿洲セメント）同
▲川村兌之氏（會社員）同
▲庄境猪久馬氏（同）同
▲寺山佐治郞氏（同）同
▲中武盛氏（商業）同
▲友田村一郞氏（滿航）同

出發

▲川村宗駒氏 廿五日奉天へ
▲田邊敏行氏 大連へ
▲三浦吾郞氏 哈市へ
▲坂田謙二氏 大連へ
▲山口司一氏 京城へ
▲中村直三郞氏 同
▲大島貞夫氏 大連へ
▲中井岸太郞氏 哈市へ
▲山口外二氏 奉天へ
▲河合義太郞氏 大連へ
▲本原嘉明氏 佳木斯へ
▲前田福太郞氏 哈市へ
▲木村卓郞氏 哈市へ
▲橫河時介氏 奉天へ
▲塚本喜三氏 奉天へ
▲大西勇氏 大連へ
▲美濃勇一氏 奉天へ
▲飯島一二氏 承德へ
▲河井田義臣氏 奉天へ
▲中島光治氏 同
▲神村正三郞氏 海城へ
▲佐藤實氏 大連へ
▲野口三郞氏 營口へ
▲正春鐵太郞氏 哈市へ
▲田口賀氏 奉天へ
▲湯畑正一氏 同
▲根橋禎二氏 大連へ
▲前田郞氏 同
▲畑生國彥氏 奉天へ
▲池田龜弘氏 哈市へ
▲田中乾一氏 奉天へ

その日く

□ フランコ軍バルセロナの一角へ突入、歡聲東西の防共陣にあがる
□ 人民戰線の孤城が落ちて、お隣りの佛國あたり恐怖の踊りを演ずる
□ 往年の意氣込みは何處へ、ソ聯ちか頃沈默の行をやつてるそうな
□ ともあれ一九三九年の歐洲史は、こゝに新しい頁を記錄した
□ 煙草と王道との關係如何、これは滿洲國的常識試驗の問題にはなる

銃後は手を擴げて 傷痍軍人を待つ

元中銀勤務の淺井上等兵 兵役免除となり再び勤務

聖戰に參加し名譽の戰傷を負つて新京陸軍病院で手厚い看護を受けて滿一ヶ年、その後內地に歸還して療養に努め右眼喪失のために

兵役免除と なつた勇士が、再び勤務地に復歸するに至つて廿六日一ヶ年振りで新京陸軍病院を訪問してかつての還養を謝すとゝもに、元氣となつて再び社會で働らく喜びを語り、白衣の勇士の慰問にと金一封の寄附申出でをして院長をはじめ關係者と劇的對面をし梁吹院長の懇望で白衣の勇士に對し自分の療養生活一ヶ年の體驗を語り一同を感激せしめてゐる、この美談の主は中銀總行勤務の淺井武次君で同君は滿洲事變に出征後、除隊とゝもに豫備步兵上等兵として中銀に入り守衛として總行に勤務してゐたが、一昨年十一月應召して田中總裁筆の日の丸旗を腹にしめ、多數行員は見送られて勇躍出征、山西省大同附近で殘敵掃蕩中不幸にして敵彈を受け彈片によつて右眼、左手を傷つけられ、經過不良のため大同より旅順陸軍病院に送られ續いて同十二月廿五日新京陸軍病院に入院するに及んで陸軍病院關係者をはじめ中銀各課長、同輩の手厚い看護を受けた、然し右眼々底に殘る彈片の摘出手術の經過は芳しからず療養二ヶ月にして昨年二月大阪陸軍病院、東京陸軍病院と送られ昨年十月右眼失明、左り手人指し指を失つて全快退院、十二月十五日兵役免除となつたので再び新京で働らくことを希望し

中銀關係者 の理解ある取計ひでこのほど凱旋し新装の總行に勤務中であるが、かつての院長以下係員の心ある治療看護に報ゆるべくけふ陸軍病院を訪問し金一封寄附を申出でたものである、新京陸軍病院では

事變以來御國のために戰傷を受けて入院する人が澤山ありますが、淺井さんのやうに當病院から內地まで行かれて全快し元氣で歸京せられた人は新京では珍しいです、同君今後の活動を祈つてゐる次第です

と語つてゐる【寫眞は入院中の白衣の勇士に病院生活の體驗を語る淺井君】

只感謝のみ 淺井君感激を語る

陸軍病院を訪問して白衣の勇士に一ヶ年に達する病院生活の體驗を縷々述べた淺井君は出征中の銃後の支援、病氣療養中の國民の感謝熱意及び中銀總行の行屆いた態度に對して左の如く語つた

再び新京に働くことが出來ることを感謝してゐます、眼が不自由となり手に差支へが出來ても生活に何等の脅威を受けることがなく再び中央銀行に働らくことが出來るのは、總行皆樣の御計らひと偏へに感謝してゐます、殊に出征中、療養中になり或は慰問團派遣となつて吾々を鞭撻してくれました、療養中には內地の職業輔導が行屆いてゐるので何等の不安もなく落着いて治療を受けることが出來ました、御國のため何等の仕事も出來ないのに拘はらず、皆樣から身に餘る御同情と御支援を得ましたので今後身を捧げて國のため、銀行のために盡力する覺悟です

關東局職員

關東神宮御造營費を寄附

大陸に活躍する日本人の信仰の的として昭和十三年度より旅順に御造營中の關東神宮の外苑御造營費に關東局全職員は率先して一般に範を示すため大津總長以下一同合せて五萬圓を神宮奉賛會に寄附することになつた

息實氏の結婚に際し、時局柄披露宴等の冗費を節約し、鄉軍新京聯合分會に基金として百圓、國婦新京支部に百圓をそれぞれ寄附した

軍屬獻金 漢口攻略を期として事變終末まで獻金を誓つた在京〇〇部隊の軍屬達は、毎月恤兵費として獻金進軍を續けてゐるが、今年に入つてからの赤誠の集積が百五十圓に達したのでこれを取纒め廿五日午後關東軍司令部へ本年度第一回分として獻金手續きをとつた

寄附 滿拓總裁坪上貞二氏は二十三日の亡母の忌明けに際し金百圓を國防會館に寄附し、慰安設備の費用に充てられたいと申し出た

國防獻金

香川洋服店主 市內永樂町二丁目四番地香川洋服店主香川美登氏は先に妻女露子さんを亡ひ、その忌明にあたり葬儀の際、各方面から寄せられた供花香奠等の返禮を行ふ筈のところ、時局柄これを廢して金一封を國防獻金これにかへたしと二十五日午後本社へ寄託、よつて直ちにその手續をとつた

松田益太郎氏 市內三笠町三ノ一一三笠町會長松田益太郎氏は二十四日令

國防婦人會の基礎强化協議

二月一日本部で

滿洲國防婦人會では康德六年度の新段階に對處して會組織の强化を圖るため新たに全滿十五ヶ所に地方本部を設置し更に地方本部下に四十三個所の支部を置き會組織の系統を劃然たらしむることになつたが、これが打合會は二月一日新京總本部に於いて開かれることになつてゐる

◇間島省、三江省、黑河省、興安東省、興安南省、熱河省、龍江、龍江省、濱江省、吉林、吉林省、奉天省、安東省、通化省、錦州省

入船町の火事 二十六日午前九時ごろ、市內入船町四丁目十九番地大成印刷所李義洙（三〇）屋內のストーブの煙突より洩れた火の粉が板張りの天井に燃え移り二時間ほど炎上して同所を全燒、十一時鎭火したが損害約八千圓の見込

長春洋火燒く 二十六日午前十一時三十分ごろ、市內高砂町二丁目四番地長春洋火工廠の鱗寸工場より發火工場一部を炎上して半時間で鎭火した

第一回諮議會 特別市公署では來る三十一日午後一時より市公署會議室に於て本年度第一回諮議會を召集するが諮問議案は市稅條例改正の件である、本案は舊臘廿八日院令及び經濟部令によつて公布の街制村制施行規則中改正によつて街村稅の稅率引下げに伴ひ、これが負擔の均衡を圖ると共に一面國都の健全自立財政を確立せんとする建議によるもので營業稅、自由職業稅 家屋稅の稅率は全面的に引上げとなるものである

營口奉天間百八十粁 運河計畫進捗

調查費百萬圓を計上

營口、奉天間百八十キロ運河開通計畫に關しては遼河治水工事の進捗とタイアップして目下交通部において本年度豫算に調查費として百萬圓（遼河治水費を含む）を計上して銳意實地調查を急ぎつゝあるが、同計畫は工費三千萬圓、五ヶ年計畫で開通後は三百噸級貨物船を以て鞍山、奉天重工業ブロック生產品の搬出と營口輸入貨物の輸送とに當らしめる方針で將來國內輸送の一幹線として多大の期待がかけられてゐる、因みに鞍山の貨物被送量は現在約四百五十萬瓲である

特殊婦女組合設立協議

惠まれぬ境遇にある藝妓酌婦等の不幸をお互に慰め救濟しやうとの趣旨から國都日滿料理店組合を打つて一丸としたこれ等特殊婦女の共濟組合設立問題は既報の如く昨年末の懸案として首都警察廳衛生科で銳意研究準備中であつたが愈よ具體化し遲くも二月下旬までに發會式を擧げることゝなつた、本組合は所謂店主、從業者及び日滿一丸としたもので現在日滿料理店數は內地人經營六十軒、半島人廿軒、滿人百四十八軒、露人一軒、計二百二十九軒、從業者は藝妓百九十一名、酌婦內地人二百七十二名、半島人二百十八名、滿人千百七十八名總計二千二百五十九名の大團體であるが、これが組織の曉は全滿の各組合に對する先驅ともなり頗る期待され衛生科に於ては目下會則について立案中である

暖い—と 思つたも束の間 また寒くなる

けふの最低二十三度

一月になつてから五日の零下三十三度五分と言ふ殺人的寒波を皮切りに、零下三十一度を突破する日が四回もあつて國都人を慄ひ上らせたが、一年中で一番寒いと言はれる二十一日の大寒入りから曆と逆比例に暖かになり二十三日からは急激に寒波は去つて二十四日には最低零下を下ること七度四、本年に入つての最高氣溫を示したが、更に二十五日には零下僅かに二度と言ふ溫かさで、吹く風も寒いには寒いが無數の針を含んだ樣な痛さから遠ざかり、ほのかな春の息吹きさへ運んでゐるが例によつて天氣の小父さん觀象台では次の如く語つてゐる

二十三日より暖かになつた原因は蒙古方面に起つた低氣壓が新京の西側を通つてハルビンにまで進行、その低氣壓につれられて來た溫暖前線が丁度新京を過ぎたからでもう今日二十六日は殆んど通り過ぎたので、今日の最低は二十七度に下りまた寒さがきますが、もう三十度を突破するなどと言ふことはないでせう

國內電信電話の統制

一元的統合に合理化 主要幹線順次ケーブル化

現在の電信網は治安、軍事、航空、地方官廳、專用等それぞれ關係各機關により多種多樣に使用されてゐるが、郵政總局ではこれが運營の合理化をはかるため今回これ等の通信施設に關してはこれを一元的に統合すると共に國內主要幹線についても三ヶ年計畫をもつて順次ケーブル化することゝなつた、なほ鐵道電信に就ては特に輸送との關係があるので差當り別個に取扱ふこととし追つて研究の上適當に處置する方針である

北支に住む廿萬の 滿洲國民救濟

政府、積極的に方策を考究

政府は現在北支において生計を營む滿洲國民約廿萬の大多數が甚しい生活難にある實情に鑑み臨時政府諒解の下によくその救濟に積極的に乘出すことゝなり、關係機關を督勵しその方策を考究せしめてゐる、即ち北支には前記滿洲國民が臨時政府の正式認可を經て滿洲國北支同鄉會なる一種の居留民會を組織し保健、社會の各施設を經營して相互扶助の會務を果してゐるが何分同鄉會の基本財產も寡少なるため充分な働きも出來ず屢々政府宛救濟請願をなし昨年十一月祭外務局長官の北支視察の際にも同會より眞劍な陳情もあつたのでこれにつき政府も捨てゝ置けず從來私的に救濟に當つてゐた協和會とも打合せ善處することになつたが、政府のこの方針は早くも國外に反響し良好な政治的影響を與へてゐる

治安部の 巡回大型バス

治安部では交通、醫療機關その他娛樂設備に惠まれない山間地方住民の文化向上のためかねて奉天市同和自動車會社に巡回大型バス四臺の製作を依賴中であつたが、その內の一臺、錦州省に配置される「惠民號」が本日組立を終つてエンジンの音も輕くデビューした、この大型バスは陸軍六輪傷護自動車をモデルとして製作したもので製作費は一臺約一萬九千圓、速力は五十キロ程度で、どんな山間の惡路を走つても顚覆、橫轉等がない特別な裝置がしてあり、車內の配置、採光も至れり盡せりの豪華なものである、地方巡回には醫療器具、藥品の外に宣傳娛樂を兼ねたトーキー映寫機も積込まれ車內で一般病人の治療が出來る上、夜は耳と目を通じて滿人の文化向上を圖る仕組になつてゐる、なほ殘りの三臺も目下組立中で近く通化省公署、吉林省公署奉天省海城縣公署に配置されることになつた【寫眞はそのバス】

夜行三等車に 寢台車

三等の夜行客に福音＝滿鐵では兎角等閑視され勝ちな三等乘客に對するサーヴイスとして午後十一時四十分奉天發、午前七時廿七分新京着の第三五列車及び午後十一時卅分新京發、午前七時卅五分奉天着の第三六列車に三等寢台を連結し二十五日より實施して夜の旅をするお客さんの便宜を圖つてゐる

興安支隊凱旋

興安支隊は昨年三月以來匪賊のため三江地區に出動し大いに武威を振ひ匪團を震駭せしめたが一部郭美部隊は廿五日午前十時廿四分ハルビン驛通過、廿六日午前八時四十二分新京驛通過で晴れの凱旋をなすことになつた、出動以來同支隊の戰果は左の赫々たるもので三江地區の治安はために一新せられた

討伐回數約六十回、匪の損害 死三六八、捕虜十五、戰利品小銃彈二萬千

脚本の檢閲漸增

昨年一ヶ年間に新京市內十一の映畫上映館、一の劇場及び滿鐵西廣場倶樂部、記念公會堂に上演、上映され國都人の血を沸したり、淚を絞つたりした劇、脚本の檢閲總數量は三百二十五本にのぼり、そのうち六本だけは公安、風俗に有害なものとして不許可となつたが一昨年康德四年度の申請數百八十三本に比較して殆んど二倍に達せんとしてをり檢閲當局の見透しでは更に今年度は昨年度の一倍半には達する見込で、こゝにも國都文化面の飛躍的な發展相が描出されてゐる

龍江省荒し大青山匪一味逮捕

昨秋以來龍江省下依安、林甸、富裕、拜泉、克山、訥河の各縣を荒し廻つてゐた大青山以下二十餘名の土匪が、冬籠りのため克山縣永安鎮に潛伏中なることを探知した同警察署では廿二日早曉署員を總動員して匪家を襲ひ匪首大青山以下一味廿餘名を一網打盡に逮捕、目下同署において嚴重取調べ中である

鮮系拓士

訓練所開設

鮮系拓士の入植前の訓練については從來兎角等閑に附されてゐたゝめ入植後の營農成績原住民との融和等の點で遺憾の點があつたので今回鮮滿、滿鮮兩社協力して入植鮮農に對する各種訓練を行ふ事となつた、即ち鮮內は滿鮮拓植、滿洲內は滿鮮拓植がこれに當り、入植前に於ては江原道洪浦に鮮滿拓が中心となり移民訓練所を開設し、訓練に當り、入植後にあつては滿鮮拓が吉林省永吉縣江密峰に農民訓練所を新設して專ら協和精神の體得、滿洲式營農法の研究指導、部落經營の方法等について訓練を施すことゝなつた、右江密峰における訓練所は滿洲國政府より四萬圓程度の補助を受け、本年解氷期と同時に建設に着手し今秋頃より入植民中各部落より一名位づゝ中堅層の者を選拔し訓練を行ふことゝなつた、訓練期間は長期（八ヶ月）、短期（二ヶ月）に分ち長期は年一回五十名、短期は年二回五十名宛、計百名を養成、一ヶ年被訓練人員は百五十名と豫定されてゐる

農機具問題懇談會

新京農機具商組合では農具改善による滿洲農業の健全明朗なる發展を期するため來る二月四日午後一時から新京記念公會堂に於て組合關係者多數參集の上「農機具問題懇談會」を催すことゝなつた

高工十校を增設

【東京國通】生產擴充の要望に伴ふ高等工業學校增設問題は目下文部省で企畫院の生產擴充豫定地と睨み合せ學校數學科目等にわたつて調查準備を進めてゐるが、學校數は現在のところ大體十校の豫定で學科目は電氣、機械、應用化學の三科目とし、その他土木染織、採鑛、冶金等の諸學術を置くことになる模樣で、追加豫算案の議會通過を待つて本年中に起工の運びである

商業新入生募集

新京商業學校では本年度新入學生の募集を開始したが、募集人員は支那語志望者百名、ロシヤ語志望者五十名、英語志望者五十名合計二百名で、受付は二月十五日まで、入學考查は二月の二十七、八の兩日に身體檢査と簡單な筆答試問を行ふことになつてゐる

三上氏講演會

一燈園三上和志氏の講演會は二十八日午後八時から白菊町滿鐵白菊倶樂部で開催されるが演題は「岐路に立ちて」多數來聽を歡迎すると

カフエー組合新幹部

新京カフエー組合長松竹友清金藏、副組合長銀波小吉唯一、會計銀座會館金成茂の三氏は二十六日大橋書記同伴新任挨拶に來社した

今晩の主なる放送

▲七・三〇國民歌謠「愛馬進軍歌」（東京）▲七・四〇講演（東京）林博太郎▲八・〇〇歌謠曲（東京）コロムビア合唱團▲八・三〇ラヂオ風景「護れ國境線」（東京）山田之助外▲九・二〇長唄「一月の卷」（東京）杵屋勝々郎々

愈よ二十八日から 忠臣藏を開演
二十二場幕合なし

歌舞伎劇假名手本忠臣藏全通し幕なしの大芝居、嵐芳三郎片岡卯左衛門、岩井松之助らを中心に五十數名の大一座はいよ／＼來る二十八日を初日に三日間、公會堂で開演する舞台裝置は白木屋が考案した背景を用ひ、次から次へ、一般が退屈する幕合ひが全然ないので到るところ好評を博してゐる。先づ大序鶴ヶ岡八幡宮社前兜あらための場から鎌倉建長寺の場、足利殿中松の間の場、鷹谷判官館の場、同表門の場、大手門外の場、海道筋の場、山崎街道の場、與市兵衛内勘平切腹の場、祇園一力茶屋の場、本藏下屋敷の場、山科閑居の場、天川屋義平内の場、討入師直屋敷表門の場、同内玄關の場、同大廣間の場、同奧庭の場、同炭部屋本懐の場等々二十二段ドンデン返しの大車輪大熱演は舊劇愛好家をよろこばすことであらう。本紙讀者には一般入場料一圓五十錢のところ一圓に割引の優待がある【寫眞は市川實三郎の大星力彌】

出演者は中村米子の助演の他に青い鳥會員五十名全員出演、更に大同劇團から有志の賛助出演がある

雜音

二十七日よりの長春座、獨ウフアの「乞食學生」詳細な批評はあすの本欄に讓るが、この歌と踊に溢れたオペレツト映畫は音樂を愛す人には無條件で受けるであらう、種々の缺點はあるが、この洋畫難の今日そんなことは問題にならない▼ヨハネス・ヘースタースの歌、カローラ・ヘーンの美、ベルトールド・エベツケのユーモア、マリカ・レツクの踊と主演の四人がそれ／＼達者なバイプレイヤーにまもられて十八世紀の初めポーランドに描く獨立ローマンス、見て損はしない▼けふからの替り、帝都キネマ「シピオネ」と「制服の處女新版」新京キネマは澤田清、澤村國太郎の「隠密七生記」と「タルマツチの絶海の爆彈兒」

中山義夫第二回公演
廿九日於西廣場滿鐵俱樂部

青い鳥會主宰者中山義夫氏は既報の如く舊臘郷里で失つた母堂の七七夜に當る來る二十九日追悼舞踊公演を西廣場滿鐵俱樂部で開催するがプログラムは左の如くである

第一部 どりいむらんど
一、國民舞踊 愛國行進曲
二、つみ草遊び
三、僕は軍人
四、小猿の酒買ひ
五、猫のデユエツト
六、青い目の人形
七、小さな白鳥の死
八、たはむれ
九、組曲 いたづら小僧日記

第二部 亡き母の靈に捧ぐるバレー「奥津城」八景
一景 プロローグ
二景 背きし者
三景 はかなき歌
四景 放浪兒
五景 母の慈愛は大なり
六景 光は無邊なり
七景 母みまかりぬ
八景 葬送行進曲

第三部 大地の譜
提唱するところの新興滿洲舞踊の決定版である
一、組曲 田園讃歌
A 田園詩
B 農民の踊り
C 汗と歡喜
D 太陽への讃歌
二、新型式の舞詩による
三、軍艦 加藤愛夫氏の從軍詩より
四、依瀬曲 桜[illegible]鄉 大陸行進曲

仙人掌

「よお！いゝところへ來た。酒にしやうか、ビールにしやうか、何？おれは今迄酒だつたんだ、なんだビールか、ぢやめんどうだ、酒とビールにしやう、あゝいゝ氣持だウイツ……」これは私がリクエストに這入つて先づかけられた言葉である、といつて別に友達に會つたわけではない。初對面の田中さんとやら云ふ女給さんのサービスである▼カフエー大新京の市川君最近馬鹿に元氣がない、この人元來戀人が出來かゝつた時は悄げるし、失戀した時は「変しい馬鹿ね」で朗かになる癖ありとか……さういへば暮から少々變だつたといふ噂もある▼麥い家のお德部隊長、さる銀行の入口でドアーを排して入らんとしたとたん中から出て來た紳士とぶつかつた、下を向いた顔は眼鏡以外はそれはく／＼まつかでした

晝夜用心記

三村伸太郎・作　木下大雍・畫

(七四)

にごり江(六)

宍戸小次郎は、今日、ひさしぶりに、柳瀨の家をたづねて來たのであつた……。

……あの、精悍な、燃えれば燃るものである。

やうなはげしい情熱を持つてゐた柳瀨蒲三郎が、蒲團の中に、憔悴して、くづ折れるやうに、横たはつてゐる。

兩眼だけが、妖しく光つてゐる。これは、激しい心の懊惱を物語るものであつた。

何時か、兩國の夕まぐれに出會つた——いまから、考へて見ても、あの夜は、なすことがすべて、なにか魔でもさしてゐたやうな夜であつた。

さんでん返しを打つて、災厄がその夜からふりかゝつて來た。

あれから、一月あまりになる。

宍戸小次郎は、やうやく、自分の進むべき方向を見定めたやうである。

明日にでも、井伊掃部頭の公用人、宇津木六之丞に會へば、小次郎は、重要な用務を帶びて、京都へ向けて、發足するかも知れなかつた。

それで、暫くの別れとも思つて、柳瀨蒲三郎を訪ねて來たのであつたが……。

『貴公ほどの者がやられるといふのは、相手がよほどの使ひ手であらう……その者の名前は、何んと云つたか、御存知か』

宍戸小次郎は、病床の柳瀨蒲三郎の姿を見ると、胸が、熱くなるほどの憤りを覺えてくるのであつた。

それも普通の場合ではなかつた。

父の敵である……不倶戴天の父の仇である。

……柳瀨蒲三郎から、今日始めて聞いた、敵の山下茂兵衛のことである。それを、勸王親國の同志などと、片腹痛い名分論をふり廻して、無用の騒立てをして得意がつてゐる、如何にも議論倒れの、愛國の志士氣取りが、滑稽でもあれば、また、面憎かつた……

『たしか、安積とか言つてゐたが……』

かう言つた、柳瀨蒲三郎は今、思ひ出してか、口惜いの涙を浮べてゐる。

『その者は、恐るべき人物だ……尋常の勝負をしたところで、拙者が、あの場合斬られてゐる』

柳瀨は、かう言つて、それでも淋しさうに、笑つた。

『安積……さうか……拙者が京都にでも出向いたら、その人物に出會ふかも知れぬ……その時は、貴公の無念は、拙者が晴らしてやる……』

『……』

柳瀨蒲三郎は、小次郎の温かい友情に、感謝を覺えて、うれしさうに、うなづく。

『兎も角も、身體を、早く癒さんと……』

『拙者も、さう思つてゐるが……どうも……』

柳瀨は、左の腕を、輕くうごかして見て、いらだたしい表情を浮べるのであつた。

『ま、何よりも、心持を靜かにしてゐることが、一番だが——』

かう言つて、宍戸小次郎は心の中で

(だいぶ暮しも逼塞してゐるやうだが——宇津木に會へば金は何んとか、都合がつくかも知れない——)

と、思ふと、それとなく柳瀨に

『二三日のうちに、拙者は、も一度やつて來るが……ま、氣持は樂に持つてゐることだ……』

『有難う』

宍戸小次郎が、立ち上つて歸りかけると、妹の雪江は、宇之の家から、かへつて來た。

『まア、これは……お歸りでございますか』

雪江は、一二度顏を會はしたことのある宍戸小次郎ではあつたが、何んとなく頼もしい人のやうに思はれてくるのであつた。

商況欄(二十六日前場)

海外經濟電報

倫敦金塊	七磅八志八片二分一
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	二〇片一六分三
同先物	一九片八分七
紐育銀塊	四二仙四分三
孟買銀塊	五三留比一六分五

市俄古小麥

五月限	七〇仙〇〇
七月限	六九仙八分七
九月限	六〇仙八分五

紐育棉花

現物	九仙〇四
一月限	七仙三七
三月限	八仙四四
五月限	八仙一六
七月限	七仙八七
十月限	七仙三七
十二月限	七仙三六

印棉

ブローチ	一五四留比八分五
オームラ	一四一留比八分五
ベンゴール	一二八留比四分一

カルカツタ麻袋

鐵筋	[illegible]
青筋	[illegible]

紐育株式

スチール株	五六弗八分三
アナゴンダ株	二七弗八分七

外國爲替

米英爲替	四弗六七仙一六分九
米日爲替	二七弗二八仙
米支爲替	一六弗四三仙
米佛爲替	二仙六四一六分五
英米爲替	四弗六七仙五〇
英日爲替	一志二片〇〇〇
英支爲替	八片八分五
英佛爲替	一七七法郎〇〇
印日爲替	七八留比八分五

滿洲中銀爲替

紐育向	二七弗四分一
倫敦向	一志二片〇〇〇

阪神爲替

對米賣	二七弗四分一
對米買	三二分九
對英賣	一志二片〇〇
對英買	六四分一〇

各地株式市況

東京株式(短期)

銘柄	寄付	大引
新東	一三三五〇	一三三七〇
大新	七一八〇	七一七〇
鐘紡	一四六一〇	一四六一〇
帝新	九二八〇	九二八〇
洋新	八一三〇	八一一〇
日船	五七六〇	五七五〇
郵石	六一一〇	六一一〇
同立	四八一〇	四七八〇
日業	七〇五〇	七〇七〇
日工	七六〇〇	七六四〇
滿電	七三二〇	七三三〇
電	六二八〇	六六八〇
東	五四九〇	五四八〇

大阪株式(短期)

銘柄	寄付	大引
日電	六〇一〇	一
蒲鐵	—	—
糖新	六四〇〇	六三九〇
日會	一	八〇四〇
大新	七二一〇	七一三〇
新東	二三三一〇	一三三二〇
鐘紡	一四五九〇	一四六八〇
日業	七二四〇	七二三〇
蓄	五六九〇	—

大連株式(短期)

銘柄	寄付	大引
五品	一二三〇	一二三〇
東新	一三二五〇	一三二七〇
滿薬	七二三〇	七二三〇
同新	—	一
鐘紡	一四五〇〇	一四四〇
滿鐵	六九九〇	—
土木	二一七〇	—
豆新	一六六〇	一
大新	七一八〇	七二六〇

家傳 辻の紅灸

一回五十錢　寶山館

各地商品市況

大阪綿糸

一月限	二〇七五〇
二月限	—
三月限	二〇三〇
四月限	—

大阪綿布

一月限	二八五
二月限	—
三月限	二〇二
四月限	二〇五二
五月限	二〇五
六月限	二〇九六
七月限	三〇九九

東京人絹

當限	—
先限	—

大阪棉花

一月限	納
二月限	三三五
三月限	三三五
四月限	三三三
五月限	—
六月限	—
七月限	三三八五

大阪期米

當限	三三九七
中限	三三〇九
先限	三六二一

大阪人絹

一月限	—
二月限	—
三月限	—
四月限	—
五月限	—

橫濱生糸

現物	八九〇
當限	八九三
先限	八六九

各地特産市況

新京

	寄付	引	出來高
大豆 先限	六三三	六三七	二〇車
一月限	六三七	五三六五	一〇車
二月限	六三五	六四三	一八車
三月限			

大連

豆：

	寄付	大引
袋入	七〇九	七一三
一月限	七〇三	七〇六
二月限	七〇八	七一三
三月限	七一五	七〇九
四月限	七一三	七一五
五月限	七一七	七〇九
三等豆	—	—

豆粕：

	寄付	大引
現物	二三〇五	二三〇五
二月限	二三〇五	二三〇五
三月限	二三二五	二三二〇
四月限	二三二〇	二三三〇
五月限	二三三〇	二三三五
六月限	—	—

豆油：

	寄付	大引
現物	一五八五	一五九〇
二月限	一五九〇	一五九〇
三月限	一六〇〇	一五九〇
四月限	一五九〇	一五九五
五月限	一六二〇	一六三〇
六月限	—	—

七 金曜 甲子 先勝 閉 鬼宿　舊十二月八日 二十七日

東京・本郷・神誠館

● 一白の人　一旦下りたる運氣も引立を受け向上すべし 巽と北と坤が吉

● 二黒の人　意外の恩惠に浴し得らる吉日なり進て吉し 乾と巽と酉が吉

● 三碧の人　行く先きに涂びの雲の掛りて晴れやらぬ日 丑と艮と酉が吉

● 四緑の人　昨日の味方も今日は敵となり易き凶日たり 北と丑と酉が吉

● 五黄の人　心を揃へ根氣よく働けば大吉日と成るべし 丙と乾と巽が吉

● 六白の人　樂々と伸び行く日なり名弘め開店何れも吉 丙と寅と丑が吉

● 七赤の人　内和業の生じ易く金談にも故障を生じ易し 丁と乾と巽が吉

● 八白の人　一日再び巖なり難し勇を鼓して奮闘すべし 丙と巽と申が吉

● 九紫の人　焦り氣のみ長じて落付きを欠く注意日たり 北と申と丁が吉

本紙朝夕刊十二頁

吳佩孚蹶起を決意 中國々難に當る

近く重要位置に推戴されん

【北京廿六日發國通】現下の國難に對處して急速なる和平救國を實現すべく有力なる元老の蹶起を要望する民衆の聲は今や中國元老の第一人者として全國民の間に衆望高き吳佩孚將軍の出馬を促す熱烈なる通電となつて連日各地の朝野有力者、軍隊、學生、團體、公會等よりひきも切らず同將軍の下に山積されてゐるが、吳佩孚將軍はこの熱烈なる朝野一致の要請もだし難く遂に起つて國家の大難に當るべく出馬の意を固めるに至つた、即ち吳將軍は二十六日久しき沈默を破つてこの最も熱心にして且つ有力なる出馬要請者たる江元鐸、江朝宗、鄧邦述等に對しそれぞれ茲に待望の第一聲を放つて蹶起の決意を天下に闡明した、これによつて吳佩孚は近く和平救國治安の局面に重大な役割を演ずべく重要位置に推戴されることは略々確定的となつた

吳の蹶起要望と併行

和平運動全中國を覆ふ

【北京廿六日發國通】全國民衆の元老出馬要請に對して別項の如く吳佩孚氏はその蹶起の意思を明かにしたが、これに併行して和平運動の母體となるべき團體を組織すべくその準備が着々進行しつゝあり吳佩孚に對す出馬要請は既報の如く全國の各民衆團體から通電されてゐたものであるがこれは單なる民衆の聲としてのみに止まらず北京の江朝宗、馮祝慈、上海の江天鐸、鄧邦、天津の吳延燮、袁乃寬氏等の各有力者並に臨時、維新兩政府首腦によりそれを具體化すべく民衆團體組織が結成に向つて進行、近く實施するものと見られ吳佩孚氏の出馬に各支那耆宿が團體成立と共に合流和平運動はこれにより判然と核心を持ち、全國的に強力な運動を席捲するものと見られる「同團體は既に出馬の意思を明かにした吳佩孚を迎へ和平救國の運動に邁進する一方吳佩孚の軍人的勢力により治安確立に乘出すものと觀測されるが、これにより重慶政府を中心とする抗日勢力は、さきの汪精衛の聲明により內部より深刻な分裂を來す一方、中國全民衆により組織的な和平運動の強壓を受け、わが軍の斷乎たる軍事行動と相俟つて益々窮地に立つに至り、事變の相貌は戰亂一年半にして和平の胎動を聞くの新段階を見に至つた

吳將軍の通電內容

【北京廿六日發國通】朝野の懇請もだし難く出馬を決意した吳佩孚將軍は江天鐸に對する返電の形式をもつて朝野の有力者宛左の如き歷史的蹶起通電を發した

貴電拜承せり仁言を拜し憂碑に堪へず、讓後なほ心の修裂するを覺ゆ、昨年事變勃發以來近畿に興りてより逐次擴大し遂に全國に及べり、同種の爭ひに天地は共に悲しむ、山野は其形を改め珠流ともに盡き曠古未聞の地獄の慘狀を呈せり、公等は人民と共に心を挫き和平唱導の實をとり余を激勵せらる、これ余の達し得ざりし宿懷と全然一致するものなり、國權を毀損せず財貨を維持し共に人民を救ひ太平を取戾すためには如何なる艱危も辭せざるところなり、希く文化の中心中外の視聽の集りある南支において聲氣相通じて廣く同志を集め兩國軍民を先づ啓發されんことを、兄弟墻に鬩ぐは計に非ず、東亞の危き鷸蚌相戰ひ寅雀後に從ふが如きを審さにすべきなり、力を殘して將に來るべき職に備へんとせば今や豆萁相煎るを止むべきなり、若し各方面の意見一致するにおいては余は必ず公等の命にこれ從ひ、誠心これに應ふべし

なほ吳佩孚將軍は全國各軍隊學校宛てにも同樣趣旨の通電を發した

陸軍機猛爆

【〇〇基地廿六日發國通】山瀨、阿蘇、永持、國枝各隊は廿六日早朝より中條山脈南方に殘敵掃蕩中の〇〇地上部隊に協力、芮城對岸の敵砲兵陣地並に同方面を敗走中の敵に猛爆を加へ多大の損害を與へた

【〇〇基地廿六日發國通】中村、津原兩航空部隊は二十六日午前十一時十分黃河對岸の敵根據地朝邑及隴海線華陰を空襲、敵陣並に市街を爆碎敵に大打擊を與へて全機無事歸還した、朝邑附近には騎兵第二十師があり防衞に躍起となつて居たが我が强襲に大動搖を來して居る

【〇〇基地廿六日發國通】わが猛爆に大動搖を來たした敵軍は洛陽以東の軍隊を漸次西方に移動しつゝあつたが、二十六日午前六時頃隴海線陝州新安間に貨客車多數運行してゐるのを發見、陸軍航空部隊はこれを爆擊多大の損害を與へた

芮城占領

【運城廿六日發國通】廿三日以來解縣南方の頑敵を掃蕩したわが〇〇部隊は廿五日芮城を夜襲、完全に同城を占領し敗走する敵を南方に急迫、黃河に壓迫中である

衆議院豫算總會 第三日

【東京國通】廿六日の衆議院豫算總會は午前十時廿八分開會中島彌團次氏（民）東亞新秩序につき質したのち

中島氏 治外法權の撤廢租界の返還についてはどういふ考へであるか

有田外相 治外法權の撤廢ならびに租界の返還を日本が行ふときは新政府が外國に對しても同樣の要求をなすことが自然であると思ふ

中島氏 蔣政權の在外正貨は昭和十二年度に十億萬元あつたといはれてゐたが、現在どの程度殘つてゐるか

松島外務省通商局長 蔣政權の在外正貨は昨年三月にも三、四回發表してゐたこともあるが、その後正確にはわからぬ、一說によれば廣東、漢口陷落に際して多額の資本が逃避したといはれてをり段々少くなつて來てゐることは事實で、今後長期抗戰に耐へるやうな澤山な額はない

中島氏 法幣對策は如何に考へてゐるか

石渡藏相 目下愼重に研究中である

中島氏 一九二三年の支那關稅條約を改正する考へがあるか

有田外相 關稅制度に限らず日滿支經濟ブロック建設のためには種々方策を講じなければならないが、個々の問題は夫々の事實に即して考へなければならぬ

中島氏 中支の圓に對する對策如何

石渡藏相 上海にある圓ノートは內地の兌換券と切離すことは難しいと思ふ、寧ろ圓ノートの流通よりも外貨に對する問題が重要である上海の圓ノートを再び內地にもつて來て、そこに儲けが生ずることがないやう稅關において充分取締りを行つてゐる

中島氏 今回提出された豫算案を見ると陸海軍兩省豫算はともに減つてゐるが、右豫算のなかには十二年度豫算當時計畫された國防計畫は含まれてゐるか

谷口主計局長 當初の計畫は含まれてゐる

中島氏 近く提出される臨時軍事費豫算のほかに一般會計の追加豫算として相當大きな國防費が出て來ると思ふが如何

石渡藏相 追加豫算として要求するものもあり臨時軍事費豫算として要求するものもあらうと思ふ

かくて十一時五十五分休憩午後一時四十分再開

中島彌團次氏 十四年度豫算中には滿洲國の國防分擔金が計上されてゐないが、これは本年度限りか、それとも恒久的に計上しない方針であるか

石渡藏相 これは本年度は滿洲國において國防上相當の經費が必要であるからである、將來永久に受入れをとめるといふわけではない

中島氏 豫算全體を通じて見るになほ戰時體制を整へてゐない

と藏相、商相との間に質疑應答を繰返し、代つて

小笠原三九郎氏（政友）商工省の中に大藏省爲替局の分室を設けたことは適當なる措置であつたが政府は更に積極的に商工、大藏、外務各省に亘る貿易行政機構を一元化する考へはないか

平沼首相 これは多年問題となつてゐる點で充分考慮する

小笠原氏 生產力擴充計畫のため日滿支を通じて必要とする資金調達につき具體案ありや

藏相 支那事變に關する政府の放出資金が將來相當に大きくなると考へられるのでこれが金融の圓滑化によつて多額の資金を調達し得ることゝなると思ふ、貯蓄の奬勵と資金調整法の强化により必要なる方面に資金を向けて行きたいと思ふ

小笠原氏 今後對滿支金融を興銀にやらせる考へであるか、社債株式の方も對滿支關係のものは興銀に持たせる考へか

藏相 從來ともシンヂケートが集つて對滿關係の金融をやつてゐたのであつて將來全部興銀のみにやらせる考へはない、對滿支關係の株式を興銀が持つか否かは研究を要する

小笠原氏 往年の西原借款の如きものにならぬやう貸出審査機關を設ける必要はないか

藏相 近年滿洲方面の投資は極めて成績がよかつたが今後の放出に當つても充分注意監督して行きたい

小笠原氏 更に日滿支の貿易の進捗問題、經濟統制問題等に就て商相、拓相、內相との間に問答を重ねて代つて

鶴見祐輔氏（民政）日本語を世界語少くとも東洋語にまで引上げることが東亞新秩序の建設に必要なことであると考へるが文相の所見如何

荒木文相 言語は民族の文化の根本で重大問題である、國語調査會でも研究してゐるが單に國內教育の觀點からのみでなく御說の如くより偉大なる觀點に立脚して國語整理を行ひたいと考へる

鶴見氏 殘餘の質問を延期し午後六時散會

バルセロナ陷落後 四國會談を提唱

ム首相スペイン政局收拾の肚

【ロンドン廿五日發國通】バルセロナ陷落が目睫の間に迫りスペイン今後の動向に對するイタリー側の態度は注目を惹いてゐるが、廿五日のデーリー・メール羅馬特電はバルセロナ陷落と共にムソリーニ首相が英佛獨と四國會議を提唱、スペイン政局の收拾策を提議する意向であると次のやうに報じてゐる

確實な筋から得た情報によればムソリーニ首相はバルセロナ陷落後直ちに英佛獨伊四國會議を開催したい意向で、會議の席上ではスペイン問題の解決策につき次の三點を協議することゝならう

一、バルセロナ陷落を契機として今後スペインにおける武力抗爭を根絕する方策を講ずること

一、獨伊兩國の承認の下にスペイン國自身をしてスペインを支配せしめるやう圖ること

一、カタロニヤ、マドリッド附近において再び赤色人民戰線政府の出現することなきやう方策を協議すること

バルセロナ生地獄

【パリ廿五日發國通】バルセロナでは既に飲料水も食糧も缺乏を來し、瓦斯、電氣も杜絕えがちで街上には砲爆擊に倒れた死體が各所に橫たはり市民は至るところに避難壕を掘つて避難し全く生地獄の狀況である、バルセロナ市內は間斷なき砲擊爆擊に拘らず秩序はなほ維持されてゐる、しかし銃彈武器も缺乏を告げフランス國境に向つて避難民が殺到してゐる、一方フランコ軍はバルセロナ入城を目前にして既に同市民二百萬の救援準備完了し、食糧、藥品滿載の貨物自動車を戰線に待機せしめてゐるが占領後直ちに市行政を管理するため廿五日イスパノスイザ飛行機製作會社々長シゲエル・マケー・ブラをバルセロナ市長に任命、バルセロナ突入の機を窺つてゐる

佛艦急行

【ツーロン（フランス）廿五日發國通】バルセロナの陷落が愈々切迫すると共に列國の動きは活潑となつてゐるが、フランス巡洋艦デユケスネ號は廿六日地中海岸の軍港ツーロンを出發、バルセロナに急行することになつた、デユケスネ號はバルセロナ駐在フランス大使館の要請によりスペイン人民戰線治下に踏み止つてゐるフランス人の避難民收容に當る筈である

徵兵適齡期は引下げず

＝陸相貴族院で答辯＝

【東京國通】二十六日の貴族院本會議で淺田男「兵役義務年齡を十八歲に低下しては如何」その他國防、兵役問題に關する質問をなしたるに對し板垣陸相は

徵兵適齡期を引下げることはまだ適當なりとする結論に達してゐない、現行制度を以て適當と考へる、朝鮮人志願兵制度は一視同仁の精神に基き國防の一環として半島同胞にも及ぼしたものでこの問題の將來は現狀を愼重に檢討した後決定せられるもので志願兵制度の現狀は目下のところ良好である

旨を述べた後ソ支兩方面作戰について前日と同樣の說明をなし大いに國民の覺悟を促す所あつた

片倉中佐講演

歸任の途京城滯在中の片倉中佐は二十六日午前十時半より總督府にて各局長事務官以上出席のもとに移民、生產力擴充の諸問題および滿洲國の建設現情につき約一時間に亙り詳細なる講演を行つた、因みに同中佐は二十六日午後一時十分京城發飛行機で歸任した

乃木號 バンコック着

【バンコック廿六日發國通】日暹親善飛行の乃木號は廿六日午後三時廿四分バンコック飛行場に無事到着した、かくて東京、バンコック間五千キロを廿四時間卅九分で連絡し得た、なほ實飛行時間は內地臺北間八時間四十七分、臺北バンコック間九時間四十九分で合計十八時間卅六分、時速は二百六十五キロであつた

敗殘匪徒に對し 最後の止め刺す

康德五年度滿洲國討匪成績

治安部發表＝東亞の新事態に對應し國內產業の振興と國防資源の開發は滿洲國刻下の最大急務にして之が發展促進こそは一に懸つて國內治安の肅淸にあるので滿洲國軍は今次の大討伐を以て年內最後の治安肅淸たらしむべく皇軍並に警察と協同し今や全力を擧げて三江、東邊道、西南國境三方面の僻地に足掻く殘存共匪に最後の鐵槌を下すべく零下四十度の人煙なき曠野に或は又山岳重疊の密林地帶に踏入つて日夜果敢なる討匪戰を展開し隨所に赫々たる戰果を收め更に敗殘匪徒に最後の止めを刺さんとしてゐる、即ち康德四年度末期において一萬餘と推算せられた國內匪團は爾來一ヶ年の討伐によつて僅々三千餘に激減せしめ、又昨年六月北支山西方面より滿洲國に侵入せんとせる共產第八路軍に對し皇軍と協力し之を長城において完膚なきまでに擊破し更に逃ぐるを追つて冀東地區において殲滅した、この間における國軍の損害は戰死日野中將以下二百六十三名、戰傷五百七十六名、計八百三十九名の尊き犧牲者を出せるが、敵匪に與へたる損害は左の如くである

△康德五年自一月至十二月滿洲國軍討匪效果一覽表

項目	數
討伐匪數累計	一一八、二九三
戰鬪回數	一、三八〇
敵死	六、四二七
同捕虜	五五八
同投降	四八六
人質奪還	二四〇
鹵獲品 小銃	二、七〇三
拳銃	六九八
重（輕）機	九
小銃彈	七七、一一二
拳銃彈	八、〇九八
馬匹	一、二七〇
其他被服糧食多數	

斯くして匪團は多大の損害を受けその山寨は殲滅せられ酷寒の下に食ふに糧なく討伐隊に追はれつゝ飢餓死線上を彷徨しつゝある現狀にて彼等の中には越境ソ聯に逃命するものあり又前非を悔ひ王道を慕つて歸順する者續出の狀想にあるが歸順狀況は左の如くである、

康德五年度歸順匪賊調（十一月末迄に於ける）

項目		數
歸順匪數		四、一七三
提出銃器	小銃	三、八三五
	拳銃	一、一五〇
	輕重機自動短銃	二五
	彈藥	一一八、一四一
就職狀況	歸農	二、〇七三
	勞工	六七四
	工作	九二
	其他	一、三一六

今や日支事變の進展は盟邦皇軍の大陸要衝の占據と中國政權の樹立となり、曾つて中國方面より多大の援助策動を受けつゝありし國內匪團は完全にそのルートを遮斷せられ剩へ日滿軍警討伐の威力はいよいよ加重し、今や僅かに三江省約一千五百名、東邊道約一千名、その他九百、計三千四百名內外にして今期討伐には大體潰滅されるものとみられる

楊匪徹底的討伐

第二軍管區發表

一、本月中旬東邊道において第一軍管區部隊から大打擊を受けた楊匪は逐次北上し樺甸縣、濛江縣城附近に潛伏中との報に接し第二軍管區部隊及び第一軍管區部隊はこれを捕捉殲滅すべく日軍菊地部隊と協力行動中十九日樺甸縣大柳樹河子西南方十七高地附近において楊匪金日成、李匪團の合流匪約六百と遭遇、激戰約二時間にしてこれを南方に擊退せり、本戰鬪における彼我の損害、我方戰死九名、負傷十二名、敵遺棄死體廿一、鹵獲品小銃十一、その他雜品、被服多數

一、廿日該匪賊を搜索行動中の步兵〇〇團討伐隊は同日午後二時廿分樺甸縣大柳樹河子西南方約七キロ附近において該匪の一部約六、七十と遭遇、交戰約四十分これを南方に擊退した

この戰鬪において我の戰死一、敵損害は血痕により死傷多數の見込、鹵獲品包米七百五十斤、大豆千三百斤

一、なほ引續き該匪を搜索追擊中のところ廿四日午前十一時五十分樺甸縣大砬子東方約三キロ四七高地附近において討伐隊は三度び該匪と遭遇、交戰約六時間に及びこの戰鬪において彼我の損害は我方負傷四、敵遺棄死體三十を下らず

なほ討伐隊は連日の苦鬪をものともせず引續き掃蕩中

國軍討匪成績

第三軍管區管下

第三軍管區管下における國軍昨年度の討匪成績次の如し（東邊道出動部隊を除く）

一、戰鬪回數四〇一、討伐出動人員二一、〇七一

一、匪の損害　遺棄死體一二四、捕虜二一、負傷多數

一、鹵獲品　小銃七五、輕機一、彈藥一、八八一、馬匹三一、その他多數

一、わが損害　戰死一〇（士兵）、負傷三（將校）、一六（士兵）

人事往來

▲山岸明氏（會社員）廿六日來京ヤマトホテル
▲增尾儀四郎氏（官吏）同
▲稻田勝芳氏（牡丹江省公署）同國都ホテル
▲福士尚志氏（官吏）同
▲巖橋泰彥氏（同）同
▲土肥正氏（錦州省次長）同
▲平野博氏（官吏）同
▲門野彌三郎氏（滿炭）中央ホテル
▲小川三郎氏（大東林業）同
▲前田虎造氏（官吏）同
▲林勝之助氏（安宅商會）同
▲中野孝一氏（官吏）同

偶語

滿洲を訪れる旅行者は申合せたやうに煙草を土產に買つて歸る、それは日本內地あたりで一寸見られない變つた珍らしい種類にひかされるといふよりも▼中流以下の者には一寸口に入らぬ高級煙草が內地の安煙草よりも、なほ安價に求められるからである▼入滿第一步服裝のむさくるしい苦力風の支那人がウエストミンスターをスパスパふかしてゐるのに奇異を感じさせる程滿洲の煙草は日本內地に比べて安價である▼從つて滿洲に居住するものは日滿人を問はず煙草をよく喫ふがその喫ひ方が實に贅澤である▲安いから粗末にするといふ法はない、その弊風を矯め煙草の濫用を除去する上から適度の値上は社會的にも當然の措置と云ふを得べし▼日滿交驩氷上競技に出場する日本側選手堂々入京す▼戰は勝たねばならぬが正々堂々運動精神を沒却することは最も下劣にしてスポーツマンにあらず▼また今回の大會は競技を通じての日滿親善が主たる目的であることを念頭に置かねばならぬ

社說 支那兩政府の統合

北京に臨時政府があり南京に維新政府が存するといふ狀態が相當長く續き來つてゐる兩政府ともその主義主張に於いて變りはないのであるから兩政府統治下の支那國民からこれを見れば甚だ不合理な狀態であると思はれることであらう。兩政府の併存はわづかにその成立の時期に若干の喰ひ違ひがあり、また北支と中支との事情の差異に應ずるといふことのみに於いてその合理性が說明されるに過ぎないのである。しかしこれまでにも兩政府間に聯合委員會が設けられてをり、兩政府統合のための工作は着々と進められてゐることを知り得るのはわれらの喜んでいゝところである。

去る二十四日北京に於いて開かれた第三次聯合委員會に於いては、郵政問題、棉花、石炭及び米の移輸出問題、金融問題、統一法規問題、統稅問題、駐日滿機關に關する問題等について共通處理の方策を決定したのであつた。これによつて郵政に於いて、金融に於いて、また法規に於いて兩政府の統治地域には漸次同一の施策が實行されることゝなつて來たのであつて、形式の上に於ける政府の統合といふことより以前に、國民の實際生活の上に於いて統治の分岐から起る不便と矛盾とが除かれ、事實上の統合が進められるに至つたことを知り得るのである。これは更生支那の實物教訓によつて政治體制の變化が持つところの意義といふものをよく諒解するを得るであらう。支那の國民一般といふものは未だ政治意識といふ點に於いては非常に遲れた狀態にあるのである。彼等に敎ふるにはこの實物敎訓を以てするのが最上の策である。臨時、維新兩政府とも最も適切な行き方によつてその治政を進めつゝあると言ふべきであらう。

兩政府聯合委員會が反蔣排共の態度を明らかにした聲明を發表したことも意味あることであつた。同聲明はさきに日本が唱道した隣邦敦睦、共同防共、經濟提携の三原則への共感を確言しともに手を携へて和平を達成し、興亞の大業に邁進せんことを說いたものであつた。こゝにわれ〳〵は臨時、維新兩政府が決して些末な當面の事務にのみ追はれてゐるのではなく、確乎たる方針を持して支那將來のための大計を樹てるべく努力してゐるものであることを知り得るのである。敗殘國民政府の策動未だやまず、支那共産黨また蠢動を續けつゝある。兩政府その力を一にしより强力なる基礎に立つて支那再建の偉業を行ふべき時は目前に迫つてゐることを思ふ。

共産化と無力化を遺憾なく暴露す

五中全會における蔣の演說

【上海廿六日發國通】五中全會開會の辭に代へて蔣介石は徹底抗戰の演說をなしたが、蔣介石は右演說において敗殘蔣政權の急速なる共産黨化傾向を暴露してゐる

即ち 武漢失陷後を抗戰第二期とし、第一期中に配備を終つた一切の反攻準備をこの期間において活用し、守勢を轉じて攻勢となし打續く敗戰を部分的勝利によつて克服し、これを全體的勝利にまで導くべきであると主張してゐるが、右の戰略はすでに中共六中全會において毛澤東が提唱した抗戰戰略そのまゝであり、單に遊擊戰の廣汎なる展開を强調したものである、さらに蔣介石はその演說において客觀的情勢に言及し抗戰が歷史的必然性を持つものである點を繰返し强調してゐるが、右は敗殘蔣政權が民衆を抗戰へ動員すべき具體的材料が現在如何に貧困を極めてゐるかを如實に物語るものである、このことは三民主義の新たなる强調となつて現はれ殊新しく三民主義の遵奉を力說することにより、分散しがちな戰列をその旗の下に再强化せんとする蔣介石の切實な焦慮を意味してゐる、さらに蔣介石は平和論者に對して痛烈な罵言を再三投げかけてゐるが、これは汪精衛の脫出が如何に抗戰陣營に深刻な打擊影響を與へたかを遺憾なく

暴露 したものであり汪精衛事件の後始末として當然豫想されてゐた淸黨の意圖を明瞭に公言したことは汪精衛の出國事件をめぐつて强硬派と共産派の意見が如何に無力化した蔣介石を操縱してゐるかを雄辯に物語るものである

支那紙を動員 逆宣に躍起

【上海廿六日發國通】去る廿日より重慶において開催中の蔣政府第五次中央執行委員全體會議については、汪精衛脫出に伴ふ內部的不統一の暴露を恐れた蔣介石の嚴命により會議に關する一切の報道は禁止されてゐたが、廿六日の支那紙は政府の命をうけて一齊に同會議開會式における蔣介石演說を大々的に取扱ひ

今や列强の支援による我等の徹底抗戰により、日本の國力は疲弊その極に達し國際的孤立に陷つた、日本の屈服は近きにある、最後の勝利は我等のものだ

と空疎な文字を連ね、蔣政權より離反する民心の把握に躍起となつてゐる

戰傷死二萬七千 共産八路軍一ケ年損害

【濟南廿五日發國通】共産第八路軍自ら公稱するところによれば、第八路軍編成以來の抗戰一ケ年における損害は戰死七千、戰傷二萬でその過半數は共産黨で中には共産黨幹部も含まれてゐる、右公稱は多少掛値ありとしてゐるがこれをみても一個師に近い兵力が潰滅され、三個師に近い兵力が全部損傷を蒙つたわけでわが討伐の效果が如何に甚大であるかゞ窺はれる

目覺しい 海軍部隊の活躍

【上海廿六日發國通】皇軍の彈壓下に武漢三鎭、岳陽一帶を始め長江沿岸地方は治安も日を逐ふて恢復しつゝあるが中支の大動脈揚子江を軍艦旗下に毅然下航し兵力物資の輸送を圓滑ならしめてゐる我が海軍江上諸部隊は日夜を分たず獻身的努力を續けてをり今年に入つてからのみでも九江上流岳陽までの江上で、これら諸部隊の處分した浮流機雷は八十餘個に上り、海軍江上部隊將士は骨も凍る寒風をものともせず江上確保のために危險極まる掃海作業を一日として休むことなく續けてゐるが江岸における海軍〇〇隊の活躍は目覺しく一月五日には陸軍部隊と協力、魯家港附近においては約二百の敵を、七日には松江西方三十キロの楓江鎭で數十の遊擊隊をそれ〴〵潰滅し、他の一隊は漢口佛租界抗日分子搜索に協力し、また磨盤洲附近江岸では匪賊掃蕩を行ふ等治安維持に涙ぐましい奮闘を續け地方支那民衆の感謝の的となつてゐる、かくて大動脈長江の守りは微動だにせず將士は一死報國の熱意に燃えてゐる

九江に 日本人小學校

【九江廿六日發國通】長江沿岸の九江に先生一人、生徒七人といふ世界一小さい小學校が誕生した、名前は九江尋常高等小學校と云ひ日本領事館分室を假校舍とし一年生から六年生までの七人の生徒に先生は「サイタサイタサクラガサイタ」から上級の地理、歷史まで擔當內地と少しも變らないこの小さな學校の校長兼訓導は北海道北見小學校訓導だつた千田部隊島田親一等兵で生徒は蕪湖小學校から轉校の一年生鹿毛良男君、三年生鹿毛和男君の兄弟を始め八幡市大倉小學校一年生早川太藏君、南京小學校三年生小森礎君、長崎市伊良林小學校三年生上達原淳子さん、北支大同小學校四年生富田馨君、東京市神田區小川町小學校六年生町田久子さんの七人で內地から或は中支、北支から集つた生徒さんだけに面白い、何れも發火の街に元氣一杯大陸的氣分を謳歌しながら支那街を小肩で風を切りながら樂しさうに通學してゐる、先生から宿題を出されると「もつと少々的にして下さい」とか「やつて來ないと兵隊先生に叱られる」「沒法子」などゝまぜた支那語混りの口をきゝ島田一等兵先生を苦笑させてゐる、島田訓導の話

尋常高等小學校と看板はいしたものですが御覽の通りの寺小屋です、みんな學校に來るのが唯一の樂しみだといふ熱心さで出席しますが、時々支那語混りで話されるので先生は少々やり込められさうです

三寒四溫

新任三江省次長桂定治郎氏は、そのかみの內地警察官時代特務警察の權威として辣腕を振つた人だが、どう云ふものか酒が一滴もいけず、滿洲國入りをする際にも立田現島取縣知事から

君滿洲へ行つたら何より先酒を飮むようにしろよ

と懇々訓され、錄然悟るところあつてか、それ以來德利に印がはりの鉢卷をつけて修業した甲斐あつて、めき〳〵腕をあげ最近では

獨酌の酒こそ朗になる物か 一盃飮んで一盃を注ぐ

と即興歌のやうなものをつくりながらチビリチビリ

◇……潼關の猛爆擊

伊の豫備軍召集

フランス朝野を衝動

【パリ廿五日發國通】イタリー政府の豫備軍六萬召集は數日來ドイツ並にイタリー軍の動員說やドイツ軍がオーストリヤのクランフオルトに待機しイタリーのベニスまたはトリエストを經由してリビア或はスペイン領モロッコに出動、イタリー軍と行動を共にせんとしてゐるとの說、オーストリヤ軍の先遣部隊は旣にリビア或はエチオピアに出動說等傳へられてゐた際とてフランス朝野に多大の衝動を與へてゐる、ボンネ外相は廿六日議會に臨んで最近の國際情勢並にこれに對するフランスの方針に關し聲明を行ふことゝなつてゐるが、以上の樣な情報がしきりに傳へられる折柄各方面から注目されてゐる

豫備兵六萬召集

【ローマ廿五日發國通】イタリー政府は廿五日公式コムミユニケをもつて一九〇一年生れの豫備兵六萬を訓練のため來る二月一日召集する旨發表した

軍事扶助豫算早くも成立す

戰時議會の眞面目を發揮

【東京國通】總額千六百五十萬圓に達する軍事扶助費追加豫算案は廿六日の貴族院本會議において全會一致をもつて可決されこゝに銃後國民援護の重要案件が興亞議會のトップを切つて世の中におくり出され戰時議會の眞面目を發揮した、政府が本豫算案を衆議院に送つたのは去る廿三日のことであり、議會は法規の許す限りのスピードをもつて中二日を置いてこれを可決し前線將兵の赤誠に報いたものであり、延人員百八十萬人に對

即日上奏御裁可を仰ぐ

【東京國通】廿六日の貴族院本會議において可決、今議會のトップを切つて成立を見た軍事扶助費增額に關する昭和十三年度歲出總豫算追加案(第一號)は直ちに同日の持廻り閣議に諮り正式決定し、上奏御裁可を仰ぎ近く公布施行されることゝなつた

貴院豫算分科會 審議內容を改正

【東京國通】貴族院では豫算審議に當り從來の各分科內容を改正することゝなり、廿五日の豫算總會において左の如く決定した

豫算審議
第一分科 陸軍、大藏
第二分科 外務、司法、拓務
第三分科 內務、文部、厚生
第四分科 海軍
第五分科 農林、商工
第六分科 遞信、鐵道

日滿支旅客小荷物運輸區域擴大

北支の治安回復に從ひ邦人の著しき進出に伴ひ鐵道省、滿鐵と北支事務局との間に昨年十月一日日滿支旅客小荷物聯絡運輸協定が締結され、日滿支間貨客輸送上一新紀元を劃したが、その後鐵道復舊の進展により沿線邦人は日に增加せる現狀に鑑み二月一日より左の如く改正、取扱區域を擴大することに決定した

(イ)旅客手荷物及び小荷物(新聞雜誌を除く)
△京山線、京古線、正陽門、豐台、郎坊、天津北站、塘沽、芦台、胥各莊、唐山、開平、古冶、灤縣、昌黎、留守營、北戴河、秦皇島、通州
(ロ)新聞雜誌
△京山線 京古線(イ)に同じ
△京包線 南口、康莊、宣化、張家口、大同、平地泉、厚和、包頭
△同蒲線 朔縣
△京漢線 長辛店、保定、定縣、石家莊、順德、邯鄲、彰德、新鄉
△正太線 井陘縣、陽泉、楡次、太原
△津浦線 天津西站、滄縣、[illegible]縣、濟南、兗州、臨城、徐州
△膠濟線 張店、[illegible]縣、坊子、高密、青島、博山
隴海線 高邱、開封

滿洲火災昨年度事業概況

康德四年十二月創立の滿洲火災海上保險株式會社では四月下旬新京の本社に第一回定時株主總會を招集、創業第一年度の決算諸事項を附議承認を求めることゝなつてゐるが昨年度事業概況は左の如くである

元受、再保合計
取扱件數 十七萬三千餘件
取扱保險金額 六億一千三百八十一萬九千餘圓
收入保險料(異動、解約、割引保險料差引)百六十萬一千餘圓

なほ日本の損害保險會社よりの受再保による未收保險料についても近々これが決濟を見ることゝなつてをり、この分の計數を加算すれば收入保險料においては約百六十五萬圓となる見込みで、同社昨年度の營業期間は滿洲國內四月一日より十二月末、關東州八月一日より十二月末である

貴族院本會議

【東京國通】廿六日の貴族院本會議は午前十時十二分開會劈頭日程を變更して軍事扶助費增額に關する

一、昭和十三年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)

を滿場一致可決、次いで去る廿四日の本會議における園田武彥氏(公正)の質問に對し有田外相

一、支那新政權承認は臨時、維新兩政府の聯合委員會が出來、また將來武漢、廣東にもそれ〴〵新政權が擁立されそれ等の綜合的中央政權が成立すれば速かに承認する

二、九ヶ國條約は新事態に適應しないものではあるがこれを廢棄するか否かについては今明言するわけにはゆかぬ

三、ソ聯の對蔣援助について帝國は事變以來監視を怠らない、今後も善處する方針である

四、歐米が東亞新事態を認識しなくとも帝國の國策は變更出來ない、飽くまでも彼等をして認識せしめるやう努力する

平沼首相

一、東亞新秩序の建設に何年かゝるかは明言出來ぬが、大事業であるので相當長期を要するものと覺悟せねばならぬ

一、國家總動員法は新事態に對處し總動員體制强化のため各條項を漸次發動する

松村大藏政務次官

一、正貨準備强化の方針は賀屋、池田兩藏相時代と變りない、たゞ輸出振興を圖るために適當の範圍に正貨現送を行ふことは必要上已むを得ないがそれがため通貨制度を危くする心配はない

大野朝鮮總督府政務總監 昭和十三年度は朝鮮では各種の惡材料があつたにも拘らず、なほ産金上相當の成績を擧げてゐる、この情勢で行くと昭和十七年度迄の産金豫定計畫を完成するのみならず或はこれを突破する位の自信を持つてゐる

淺田良逸男(公正) 國際情勢の緊迫赤色共産匪の跋扈跳梁の現狀よりみて支那新政權の確立擁護の爲には先づもつて日滿兩國共同防衛の如く皇軍を主體とする日滿支三國共同防衛の實を擧げなければならぬ、これは決して主權の侵害ではなく領土の侵蝕でもない盟邦の大義なりと考へるが如何、このことは新政權もまた日本とゝもに中外に言明する必要があると信ずるつぎに日獨伊三國防共協定の最高限度は何處まで押進める方針であるか

淺田男更に國防兵役問題等を質す、これに對し

平沼首相 日滿支三國の共同防衛はわが國が指導せねばならぬ、わが國としては必要な地點に兵を置いて目的達成につとめるのが旣定方針である、日獨伊三國の防共協定强化のなかには形の上のものと精神的のものと二つあり精神的のものは日本精神を獨伊兩國に及ぼすことである、現今の防共協定を如何にするかといふ點は今日言明致す時期に達してゐない、國民全體に國防の義務あることを法文化することは廣義國防の點よりすれば國家總動員法がこれに該當するものであり、目下のところこれをもつて足れりと考へる

△義勇兵は全然不必要

米內海相 コミンテルンの政治工作に對し日獨伊の防共協定は絕對に必要であると思ふ、國防は陸海軍の任務であるが、これは國民皆兵の大精神より發してをり軍に最も大切なものは統制である、これなくしては兵は烏合の衆となる、義勇兵の如きものは全然必要としてない、國防の重責はあくまで統制ある軍がこれに當る

かくして同十一時四十二分散會

改正捲菸稅法公布

政府は經濟情勢の進展につれ從來の捲煙稅を根本的に改正すると共に歲入の現狀に鑑みその稅收增加を圖るため捲煙稅法の改正を行ふこととなり國務院會議、參議府等所要手續きを經て二十六日公布した同法全文左の如し

△捲煙稅法

第一條　捲煙には本法に依り捲煙稅を課す

第二條　捲煙稅の稅率は左の區分に依る

一、國內製捲煙　小賣定價の百分の三十五

二、輸入捲煙　小賣定價の百分の二十

第三條　捲煙稅は國內製造捲煙に付ては捲煙を製造場より搬出するときその製造者より輸入捲煙に付てはその輸入者が輸入業者なるときは捲煙を輸入場に搬入したるときその者より輸入業者以外の者なるときは捲煙を輸入したるときその者より之を徵收す

第四條　國內製造捲煙に對する捲煙稅は納稅義務者の申請に依り捲煙搬出の日の屬する月の翌月末日迄その徵收を猶豫する事を得

第五條　前條の場合において稅捐局長徵稅保全上必要ありと認むるときは納稅義務者に對し擔保の提供を命ずることを得

前項の擔保に關する事項は經濟部令を以て之を定む

第六條　稅捐局長捲煙の製造者又は輸入業者より捲煙稅を徵收し又はその徵收を猶豫したるときはその者に對し驗訖證を交付す

前項の驗訖證には小賣定價を表示す

第七條　捲煙の製造者又は輸入業者は經濟部令の定むる所に依り捲煙に驗訖證を貼附したる後に非ざれば之を製造場又は輸入場より搬出することを得ず、但し捲煙稅の免除を受けたる捲煙に付ては此の限に非らず

第八條　捲煙の販賣業者は驗訖證の貼附なき捲煙を受授することを得ず

第九條　捲煙の製造者又は輸入業者は其の製造し又は輸入する捲煙に付豫め其の小賣定價を定め經濟部大臣の認可を受くべし既に決定したる小賣定價を變更せんとするとき亦同じ

捲煙輸入業者以外の者の輸入する捲煙に付ては當該捲煙と品位類似する他の捲煙の小賣定價に比準して稅捐局長其の小賣定價を決定す

第十條　經濟部大臣捲煙の小賣定價を不相當と認むるときは捲煙の製造者又は輸入業者に對し其の品位に相當する小賣定價を指定して之が變更を命ずることを得

第十一條　捲煙は當該捲煙に貼附したる驗證に表示せられたる小賣定價を超過する價格を以て之を販賣することを得ず但し經濟部大臣の指定する地域に於て經濟部大臣の定むる價格を以て販賣する場合は此の限にあらず

前項但書の場合に於ては其の增差額に付ては捲煙稅を課せず

第十二條　輸出する捲煙に付ては經濟部令の定むる所により其の捲煙稅を免除す

第十三條　捲煙腐敗其の他の事由に因り喫用に適せざるに至りたるときは經濟部令の定むる所により其の捲煙稅額に相當する金額を交付す

第四條の規定により捲煙稅の徵收を猶豫したる捲煙は前項の適用に付ては之を捲煙稅を納付したるものと看做す

第十四條　稅捐局長捲煙稅の徵稅保全上必要ありと認むるときは捲煙の製造者又は輸入業者に對し捲煙の製造數量又は輸入數量の最高限度を指定し其の他必要なる命令を爲すことを得

第十五條　捲煙を製造せんとするものは其の種類（紙捲煙又は雪茄の區別を謂ふ）を定め製造場一箇所毎に稅務監督署長の許可を受くべし

第十六條　捲煙製造者捲煙の製造を廢止したるときは其の旨を稅務監督署長に申告すべし

第十七條　捲煙製造者に付相續の開始ありたるときは其の相續の日より二月以內に限り相續人は當該捲煙の製造を繼續することを得、此の場合に於ては本法の適用上其の相續人を捲煙製造の許可を受けたる者と看做す

相續人前項の期間滿了後引續き捲煙を製造せんとするときは經濟部令の定むる所に依り當該期間內に其の旨を稅務監督署長に申告すべし

前項の申告を爲したる者は申告の日に於て被相續人の製造許可を受けたる捲煙に付製造許可を受けたる者と看做す

前三項の規定は合併後存續する法人又は合併に因りて設立したる法人に於て合併に因りて消滅したる法人の許可を受けたる捲煙の製造を繼續する場合に之を準用す、但し第一項の期間は之を合併に因りて消滅したる法人の解散登記の日より一月以內とす

第十八條　捲煙製造者左の各號の一に該當するときは稅務監督署長は其の製造許可を取消すことを得

一、捲煙稅を滯納したるとき

二、本法の規定に違反して處罰を受けたる時

三、一年以上引續き捲煙の製造を休止したる時

四、第十四條の命令に服從せざりしとき

第十九條　左の各號の一に該當する場合に於て其の製造場內に捲煙の半製品又は製品現存するときは稅捐局長は捲煙製造者たりし者又は其の承繼者の申請により一定の製造の他必要なる行爲を繼續せしむることを得此の場合に於ては、本法の規定を適用す

一、第十六條の規定により製造廢止の申告を爲したるとき

二、第十八條の規定により製造許可の取消を受けたるとき

三、捲煙製造者に付相續の開始ありたる場合に於ける相續人又は捲煙製造者たる法人合併に因りて消滅したる場合に於ける合併後存續し若くは合併に因りて設立したる法人が第十七條第二項又は第四項の規定に依る製造繼續の申告を爲さざるとき

第廿條　相續人は相續開始前捲煙製造者たりし被相續人がその製造場より搬出したる捲煙につき捲煙稅納付の義務を負ふ

合併後存續する法人又は合併に因りて設立したる法人は合併前捲煙製造者たりし被合併法人がその製造場より搬出したる捲煙に付捲煙稅納付の義務を負ふ

第廿一條　營業として捲煙を輸入せんとする者は輸入場を定め輸入場一箇所毎に稅務監督署長の許可を受くべし

第十六條及び第十七條の規定は前項に依り許可を受けたる者又はその承繼者に之を準用す

第廿二條　捲煙の輸入業者左の各號の一に該當するときは稅務監督署長は其の輸入許可を取消すことを得

一、捲煙稅を滯納したるとき

二、本法の規定に違反して處罰を受けたるとき

三、一年以上引續き捲煙の輸入を爲さざりしとき

四、第十四條の命令に服從せざりしとき

第廿三條　第廿條の規定は第廿一條の規定に依り許可を受けたる者の相續人又は合併後存續する法人、若は合併に依りて設立したる法人に之を準用す

第廿四條　營業として捲煙を販賣せんとする者は經濟部令の定むる所に依り稅捐局長に申告すべし、但し捲煙製造者又は輸入業者が其の製造場又は輸入場に於て爲す販賣に付ては此の限に在らず

第廿五條　捲煙の製造者、輸入業者又は販賣業者は經濟部令の定むる所に依り捲煙の製造、輸入又は販賣に關する事項を帳簿に記載すべし

第廿六條　捲煙の製造者、輸入業者又は販賣業者は經濟部令の定むる所に依り捲煙の製造、輸入又は販賣に關する事項を稅捐局長に申告すべし

第廿七條　稅務官吏捲煙に對する課稅取締上必要ありと認むるときは捲煙の製造場、輸入場、販賣場其の他の場所に臨檢し捲煙若は其の原料品、半製品又は製造輸入若は販賣に必要なる建築物器具、機械、帳簿、書類其の他の物件を檢査することを得

第廿八條　稅務官吏捲煙に對する課稅取締上必要ありと認むるときは捲煙の製造者、輸入者、販賣者其の他の關係者を訊問し、捲煙の運送の停止を命じ其の他必要なる處分を爲すことを得

第廿九條　捲煙の製造者又は輸入者詐僞其の他不正の行爲を以て捲煙稅を逋脫し又は其の逋脫を圖りたるときは當該捲煙稅を徵收するの外其の捲煙稅額の一倍以上十倍以下に相當する罰金又は科料に處す但し科料額は十圓を下ることを得ず

前項の場合に於て犯罪に係る捲煙が小賣定價の決定なきものなるときは其の小賣定價の決定に付ては第九條第二項の規定を準用す

第三十條　詐僞其の他不正の行爲を以て第十三條の規定に依る交付金の交付を受け又は受けんとしたる者は當該交付金額の一倍以上十倍以下に相當する罰金又は科料に處す但し科料額は十圓を下ることを得ず

前項の場合に於ては交付したる金額は之を追徵す

前項の金額の追徵に付ては國稅徵收法の規定を準用す

第卅一條　第十一條第十五條又は第二十一條の規定に違反して捲煙を製造し又は輸入したる者は當該捲煙に對する捲煙稅を徵收するの外其の捲煙稅額の一倍以上十倍以下に相當する罰金又は科料に處す、但し科料額は十圓を下ることを得ず

第二十九條第二項の規定は前項の場合に之を準用す

第卅二條　第七條若しくは第八條の規定に違反し又は第十四條の規定による命令に服從せざりし者は千圓以下の罰金又は科料に處す、但し科料は十圓を下ることを得ず

第卅三條　第十一條第一項の規定に違反したる者は科料に處す

第卅四條　第二十九條又は第三十一條乃至前條の場合に於て犯罪の目的と爲りたる捲煙にして犯人の占有するものは何人の所有に屬するを問はず之を沒收す、第三十一條の場合に於て捲煙製造の用に供したる器具機械其の他の物品に付亦同じ

第卅五條　第二十四條の規定による申告を爲さずして捲煙を販賣したる者は科料に處す

第卅六條　捲煙の製造者又は輸入業者第廿五條の規定による帳簿の記載又は第廿六條の規定による申告を怠り若は詐りたるときは百圓以下の罰金又は科料に處す、捲煙の販賣業者前項の行爲を爲したるときは科料に處す

第卅七條　第廿七條又は第廿八條の規定に基く稅務官吏の職務の執行を阻害し又は其の命令に服從せざりし者は三百圓以下の罰金又は科料に處す

第卅八條　驗證の貼附なき捲煙は本法により其の貼附を要せざるもの及び沒收するものを除くの外何人の所有に屬するを問はず經濟部令の定むる所により之を沒收することを得

附則

第卅九條　本法は康德六年二月一日より之を施行す

第四十條　康德元年勅令第四十九號捲煙稅法は之を廢止す但し捲煙に對する課稅に關する事項にして本法施行前に屬するものに付ては從前の例に依る

第四十一條　從前の規定に依り捲煙の製造許可を受けたる者は之を本法に依り許可を受けたる者と看做す

第四十二條　從前の規定に依り提供したる擔保は之を本法に依り提供したるものと看做す

第四十三條　本法施行の際現に營業として捲煙を販賣し本法施行後引續き之を爲さんとする者は部令の定むる所に依りその旨を稅捐局長に申告すべし

日滿支連絡强化及び全滿電信電話充實へ
電々本年度事業計畫大要

滿洲電々では本年二月までに全滿における民營、縣營の電話事務の引繼ぎを完了する管で、その暁は一般電話業務の全滿統制を完成するが、これ等事業の擴大化に伴つて資金計畫も年々膨脹の跡を見せ本年度資金計畫として千六百萬圓を豫定してゐる、即ち本年度事業計畫の大要左の如し

一、北滿開發に主力を傾注する

一、南滿においても產業開發進展に對處すべき設備等の附設

一、日滿支通信連絡强化

一、十五年にわたる二ケ年計畫を以て現在奉天までの無裝荷ケーブルを新京まで延長する

一、放送事業においては十三年度を基準とする擴充五ケ年計畫を樹立し本年中に富錦、黑河、海拉爾、營口、錦縣、通化の六局を新設し哈爾濱、奉天放送局の二重化を行ひ、その他各局の中繼設備の强化を行ふ

一、電話設備增設は昨年と略々同樣八千五百個等の事業計畫を樹立し、これに對する資金計畫としては、十三年度に比し四百萬圓を增額し一千六百萬圓を計上しこれが調達方法としては社內留保金四百十二萬五千圓、社外調達分一千百八十七萬五千圓を豫定してゐるが社外調達金の內譯は

一、株式一般公募分四分ノ一拂込六百八十七萬五千圓

一、社債發行による分五百萬圓を豫想してゐる

しかして社債發行は日滿兩國政府保證で日本興銀を通じて本年下半期十月頃行はれるものとみられる、右拂込によつて同社資本金は一般公募分の未拂込を六百八十七萬五千圓を殘すのみとなるので今後は當然增資如何も注目されてゐるが增資を行はずとも相當程度社內留保金等によつても依存賄ひ方可能である爲增資するとしても明年末頃になるのではないかと豫想されてゐる

非常時下の寒稽古（四）
武道に兵隊さん
爽快！大房身の朝靄

三浦部隊

新京最古參の敎士號小柴副官、中央警察學校の石井敎士、弘道館主幹藤下先生、憲兵隊橫田先生、商業學校坂井先生、新京驛村山助役などの顔がズラリと並んでゐる、これは珍らしい顔觸れだ、合同稽古の少ない新京で、これだけ先生方の揃ふことはめつたにない、此のチヤンスと張り切つた部隊の兵隊さん、腕に覺えの滿鐵社員は午後四時半を待つて續々集まる、京商の一流選手や附近の小國民も交へて七十餘名死もの狂ひで揃つて行く、ヤートーの聲も一段と凄い、突いても切つても動かばこそヘトヘトになる弟子達を「それもう一息、そこが修業ぢやさあ來い」とばかりにまくしたてる先生陣には流石に元氣一杯の二段、三段の新進もフーフーの態、各所から集まつた一粒よりの猛者連が一太刀浴びせてもの云はんと他流の師に挑みかゝる、こゝ稽古はひとときは目立つてものすごい【寫眞上】

新京中學

京中健兒四百の勇ましい寒稽古は大房身の朝もやを破つて連日午前八時から行はれてゐるが山岡、石井、川上、濱田、庭山（柔道）櫻木、金澤、吉田、吉田（劍道）の諸先生を始めこれを名殘りの山內（柔）葉色（柔）の兩二段、伊藤（柔）田中（柔）乘谷（柔）木村（劍）福場（劍）初段等の卒業生に今年の中堅稻川、河野、大社、橫山、伊月（以上柔道）伊藤、面高、米田、上田、鴨田（以上劍道）初段以下各部二百名が鎬をけづり汗だくで猛練習ののち山岡先生の發案で一同乾布摩擦を行ひ朝の修業を終る【寫眞下】

下半期續騰
昨年度小賣物價

經濟部調査＝十二月中全滿小賣物價は前月に比し四厘の微騰を示し、前年同月に比すれば二割一分の騰貴に當つてゐる、康德五年中の傾向を見るに康德三年十二月より昨年四月迄の十七ケ月間は一三〇臺（康德元年の平均價格基準）を續けた指數は五月に入つて一月以來の高値を示現、一四三・二を示し六月に入り更に上昇一五〇臺を示し以後は一高一低の高踏的情勢裡に平穩に越年した、類別指數左の如し（單位%△印下落）

	前年基準	前年同月基準
穀類	〇、五	三三、五
蔬菜	二、〇	九、七
魚類及肉類	一、九	三三、一
其の他原料品	〇、一	二三、〇
調味嗜好品	〇、一	一〇、一
衣料及纖維類	△〇、一	三三、六
燈火燃料	〇、三	一八、八
總指數	〇、四	三二、〇

滿計增資
三月總會で決定

滿洲計器株式會社（資本金三百萬圓半額拂込）は度量衡實施期三月一日を控へ、計器の大量註文が見越されてゐるので新京工場地帶へ計器製作工場の新設を計畫、これに要する設備費輸入資金の必要上八百萬圓に增資することに方針を決し當局と折衝中のところ大體意見の一致を見たので、三月末頃臨時總會を開催最後的決定を行ふ管である

尙增資額五百萬圓は全株政府持で第一回拂込は半額の二百五十萬圓である、之が使途は工場新設費百五十萬圓、殘額百萬圓は原料輸入資金その他の運轉資金に振向けられる筈

皁新製作所增資

滿炭の炭鑛開發用機械の製造修理を行つてゐる皁新製作所では滿炭の事業進展に附隨して現在資本金百五十萬圓（拂込濟）を四百萬圓に增資することゝなり、近く臨時資金統制法の認可決定を待つて總會を開催、正式決定を行ふことゝなつた

商況欄（二十六日後場）

●大連株式（短期）

	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
同紡	—	—
鐘紡	[illegible]	[illegible]
新鐘	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	—
土木	[illegible]	—

●奉天株式（短期）

	寄付	大引
滿取	—	—
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	—
滿業	[illegible]	—
同產	—	—
日品	—	—
五鐘	—	—
滿新	[illegible]	—
同鐘	—	—
新甲	—	—
電乙	[illegible]	—

新京取引市況

●大豆

	寄引	引	出來高
先物 一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]

手形交換高（二十六日）[illegible]

家庭

外出姿をスッキリ 寒いと着ぶくれていやですね 厚着の上手な着付

寒中はどうしても着ぶくれ勝ちでスッキリとした着付がしにくいものですから外出の場合は次のことをお守りになつて頂きたいものです

下着 腰骨の上から下腹へかけてガーゼを巻くと保溫にもなり、着崩れを防ぐことにもなります、その上に肩のアキの多いメリヤスの下着（洋裝に用ひるもの）を着、更にガーゼの肌着を着ます、そしてその上に眞綿をつけることにしませう、これは袋眞綿の襟と兩袖のところを切落し更に前幅を切開いてチョッキ型にしたものが恰好もよく着心地もよいものです、毛の肉襦袢は身體の線をギゴチなく見せます、これだけ下に着れば着物は一枚でも寒くありません、しかし襟がさびしければ伊達重ねを使ふことにしませう

長襦袢 着付のよしあしは長襦袢によつて決まるといつても差支へありません、長襦袢を着る時には襟がブカブカしないやうに伊達巻で形をとり、下着が多いから腰紐もゆるみ勝ですからしつかりと押へて置くことです

着物 着物の上にも伊達巻、伊達締を用ひると着崩れが來ません、着た目がダブついて前がはだかり勝ちになりやすいから下前のオクミを少し上げ、上前も爪先を上げ加減にすると姿が美しく見えます、着物は袖付をつらず、胸元をゆつたりと腹をキリリと着ることが肝腎です

帶 防寒着を着込んだ時は腹が出つぱり勝ちですから帶枕をあてゝ、その上に帶をしめると帶も落ちず形が美しく出來上ります、帶枕は厚紙を心にし、それに綿をのせて上から布で包み紐をつけたもので、自宅でも簡單に出來ます

羽織 羽織は長めのものよりやゝ短めの方が美しい線が出ます、肥えた人は普通より一寸以上下に乳をつけ、羽織の下りも少し餘計につけた方が似合ひます

汚れた毛絲編物 洗ふには熱湯は禁物

毛絲編物の汚れたのを洗濯するにはドライクリーニングが一番よいのですが、クリーニング屋に出すには料金が高いし家庭では一寸むづかしいしといふ方は次の樣な洗濯法をするより致し方がありません

◇……まづ袖口と襟など汚れた部分は揮發油でよく拭きとり乾かしてから洗濯にうつります、この場合石鹸をつけて揉みますと縮んで幅や丈がつまりますし、洗ひ方が惡いと後でニチャニチャしますから、次の方法の何れかを選び、攝氏四、五十度のぬるま湯で靜かに振りつけつゝ洗ひ、充分すすぎ、石鹸を用ひた場合は初めぬるま湯で石鹸分を充分に除いて最後によく水洗ひします

◇……汚れの少いもの＝品物百グラムにつきアムモニヤ水四グラム乃至五グラムを、品物の充分に浸る程度のぬるま湯に入れて洗ひます

◇……相當に汚れたもの＝（イ）品物百グラムにつき洗濯ソーダ三グラム、アムモニヤ水三グラムを品物の浸る程度のぬるま湯に入れます（ロ）ぬるま湯一リットルにつきマルセル石鹸二――三グラム洗濯曹達四乃至七グラム、アムモニヤ水茶匙三、四杯

◇……毛絲の洗濯には熱湯を用ひず、なるべくぬるま湯がよく、特に石鹸を使つた時には何回もぬるま湯でゆすぎ、充分に石鹸を除いた後に清水で洗ふことです

健康相談

鼻閉塞症の療法

問 私は二十七才の男子で鼻閉塞症に罹り時に多に酷くなりますが、鼻汁も多いのです、鼻汁は一時間内に五六回も出ます、爲に耳鳴、頭暈も起り、春夏の際は一寸癒る樣でありますが、然し鼻汁は尠くなりません、鼻汁は灰白色が多いですが、青色又は淡黄色の時もあります、今春膿嗡液と云ふ塗布藥を使用致した處當時は良い樣でしたが四五日間經過すると又元の通りになりました。何の病ひでせうか（撫濟）

答 貴下の御病氣は副鼻腔の蓄膿症に罹つて居るものと考へます、之は普通鼻感冒に依つて起るものでありまして種々の不快な症狀を來たしますが、殊に頭重、頭痛、物事にあき易く、氣が短かくなり記憶力も減退して來ます。殊に頭を使ふ仕事に從事して居る人には一層苦痛がひどいもので、仕事の能率が擧らない、學生ならば學業が次第に惡くなつて來ます。之は鼻腔の兩側にある副鼻腔に膿が溜る爲めですから、この腔洞内の膿汁を洗滌する方法と手術的に膿汁を作る病的粘膜を除去する方法とがあります、その何れを選ぶかは病狀の程度に依ります、一度專門醫につき御相談なさる事を御奬め致します、（回答者新京特別市立醫院耳鼻咽喉科長 醫學博士 岩田龍生）

引張り凧の ペン從軍作家 どれだけ稼ぐか

從軍ペン部隊ではないが、一九三八年度に於ける印税成金はなんと云つても「大地」の譯者新居格と、現地軍報道班にあつた火野葦平である、新居格の「大地」による印税は五萬圓を突破して、今尚ブスブスと火事場のクスブリのやうに賣れてゐる。だから最近の新居格は電話を持つてゐる。火野葦平は「麥と兵隊」に續いて「土と兵隊」更らに「花と兵隊」の三部作を發表したが、大體この三部作完成の場合には、これも悠々七八萬圓は懷ろにするであらう。現地の兵隊さんがこんなに稼いだ例はかつての日淸、日露、更に滿洲、上海等々の事變にもない次第だ。

×　×

同じペン部隊でも一足どころか、二足も早く引上げて來た連中の菊地寛、佐藤春夫、吉川英治、吉屋信子などは餘り期待されてゐないが、最後の一人となつて漢口入りした林芙美子だけは、今から八方の出版屋から引張り凧である

このペン部隊は大佐待遇で月八百圓の待遇で行つた樣だが現地の通信原稿などで、林芙美子の場合は八百圓の手當を別としても、二千圓位は從軍中に稼いでゐる。これに續いて杉山平助が、得意の戰鬪艦的筆法によつて、現地を報告してザッと千五百圓は間違ひない處であるが、然しこれらは林女史と云ひ、杉山平助と云ひ、歸つてから書きつゝあるものを見積ると、凡そ印税だけでも十萬圓を年内に稼ぐだらうと想像されてゐるから凄い。

×　×

遲筆家になつたと云はれる吉川英治でも、氏の秘書から聞くと現地報告に類するものを最近は一日十枚から二十枚は書いてゐると云ふから朝日の夕刊小說は別として、一日百五十圓位の仕事をしてゐると云へやう。家庭小說などで何百萬婦女子の心臟をハラハラさせてゐた吉屋信子も、此の頃新聞小說を含めて一日五十枚は悠々書き溜めて行くと云ふから、一週間目毎には、一冊の單行本をまとめてゐるやうなもので、この原稿料だけでも一ケ月一萬圓ものと云はれてゐる。文壇ペン部隊のなかでも、もつともハリキツてゐるのは中堅では北村小松であらう。例の飛行機趣味から、今度の從軍で大いに吾が勇敢な空軍の實情を眺めて、空軍の壯烈なものにヂャンヂャン筆をとつてゐると云ふ。一日四百字詰八十枚から百二十枚は書けると云ふから、そのスピードをそれぞれの場合に持つて來ると無慮數萬を稼ぐのは遠くはあるまい。

億劫な冬の髪洗ひ かうすれば落ちる 案外汚れはひどいもの

汗をかく時分とちがつて、寒い時は汚れが少いと考へたり億劫になつたりして髪洗ひもおこたり勝ちになるものですが、屋外のほこりや火鉢、ストーヴの灰などで案外髪の汚れはひどいものです、徒ら洗つても落ちないといふのは方法が惡いからで、汚れた髪を直ぐ洗髪液に入れてゴシゴシやるのはいけません、必ず一度頭全體をあつい湯をしぼつたタオルで包み、十分に髪を蒸します、それが面倒ならなるべくあつい湯にひたしてから洗髪液で洗ひます、これは日本古來の洗粉が一番簡便で毛のためにもよろしい、鷄卵やフノリなどは毛のためにはよくても、汚れが十分に落ちない缺點があります、洗髪したあと、よく日向ぼつこをしながら乾かす人がありますがなるべく日蔭で自然に乾かすのがよいのです。

連載漫畫 オテンキメロチャン 長崎拔天作

非常時と滿洲國體育（二）

競技は体位向上の一方法 選手は皆の理想 星野長官幼時を語る

星野長官

それで體育といふものを如何にして奬勵するかといふとこいれにはいろんな議論があると思ひます、體育といふものを最も有効にこれを發達せしめる爲には競技といふ事を出來るだけ防いで、これに陷ることを止めて、例へば體操とか何かよいゝと言ふ議論もあります、しかしこれも今の競技といふものはとかく動員體形の反非常時的の觀念にも關聯するが、しかし私は體育といふものを考へて見ると、やはり國民の體位を增進するにはピラミット型にして理想に向つて各自が自發的に邁進するのでなければならぬと思ふ、それには競技のチャンピオンが出來てきて、其チャンピオンの下に於て一つのピラミット型になつて、それを一つの理想として全體が鍛練することに依つて始めて國民全體の體位が增進する、さういふ意味に於て競技といふものも國民全體の體育向上を計るに非常に必要であると思ひます、これは私達の子供の時を見てもわかる、私は子供の時は東京の淺草の小學校ですが一月、二月になるとその時に兩國橋の向ふの方でドンドンと櫓太鼓の音が聞え相撲が始まります、さうすると小學校でも一月から二月にかけて、或は五月から六月にかけて生徒が到る所へ土俵を作つて相撲をやる、私の子供の時分は常陸山、梅ケ谷の全盛時代でみんなが常陸山や梅ケ谷と名前を附けて相撲をやる、それでやはり回向院の相撲が始まる時が一番學校の生徒の相撲も盛んである、これは一つのつまらん例ですが、國民全體に體育を興さうといふ時にはやはりさういふチャンピオンといふものを作つて、何もみんながチャンピオンになる必要はないがチャンピオンを作つてゐるといふことは國民全體が一人のチャンピオンの下まで來る、下に來るのが非常に多いのであつて、體育を國民一般に奬勵するといふ事の爲にはやはり競技といふものが非常に有効なものであると思ひます、それが所謂職業團體、職業的選手でなくてアマチュアであつてしかもそれが國家的に組織され、場合に依つては外國との競技をやり一國のチャンピオンとして出るといふことは非常にいゝ訓練であつて、勿論競技自體といふものが、その競技に依つて人の身體を惡くするとかいふ樣になるのでは困るが、全體に於て子供を最も強力に作るといふことに合つてゐる體育ならば、やはりチャンピオンといふものも體育を向上するには必要だと思ふ、とかく國民が澤山實際やればいゝといひ、野球をやつても十人位の選手がやつても何にもならないといふが、しかしやはり一般競技といふものに對し、チャンピオンといふものが出て來てそこに理想をもつてゆくといふ事が必要だと思ひます、これは先程いつた樣に獨逸が非常に動員的であり、ヒットラー以下ドイツ政府といふものが一方に於て運動競技といふものに對して、殊に最近に於て非常な注意を示してゐるのは結局國民體位の向上を圖る爲であると思ふ、體育奬勵には種々ある、勿論個人が何等競技といふことでなくて、つねに身體を養ひ攝生を重んずることも必要であるが、しかし國家として、全體として考へる時に體育奬勵の方法としてはチャンピオン式にやる組織といふものも決して無効でない、寧ろ實際人間を強くするといふのには一番有効な方法ではないかと思つてをります、さういふ意味に於て競技といふものも今日反非常時的といふ樣な見解も一部にあるが、私はやはりさう遠慮することなく、體軀を本當に強力ならしめる爲の基礎となる體育、體位の向上の爲に―勿論それに就ての弊害その他は充分除去しなければならぬが―競技しかも所謂チャンピオン式の競技といふものは少しも遠慮することなくどんどん奬勵することがいゝと思つてゐる

日時 十二月二十七日
場所 中銀倶樂部
主催 大滿洲帝國體育聯盟 滿洲保健協會
語る人 總務長官 星野直樹、民生部次長 宮澤惟重、內務局長官 御影池辰雄、民生部技正 黑井忠一、總務廳主計處長 古海忠之、營繕處長 桑原英治、專賣局副局長 原久一郎、民生部保健體育科長 富田直次、體育聯盟主事 田中愼茂、保健協會書記長 長島義同 小山克巳、同 齋藤辰雄、同 藤田昌吉

ラヂオ けふの番組 ［M・T・C・Y 新京放送局］ 廿七日（金曜日）

朝

七、五〇（大連）ラヂオ體操・入港船のお知らせ
八、一〇 ニュース
八、一五（大連）初等滿洲語講座 秩父固太郎
八、四〇（大連）朝の音樂
一、管絃樂 圓舞曲「藝術家の生涯」ヨハン・シュトラウス作曲
二、ピアノ ハンガリー狂詩曲第十三番イ短調 リスト作曲
三、管絃樂 東洋の舞姫序曲 サンサーンス作曲
九、〇〇 氣象通報
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東京）經濟市況
九、四五 建國體操
一〇、〇〇 家庭講座 眼病のいろいろと養生 醫學博士 永山寛
一〇、二五 料理獻立
一〇、三五 家庭メモ
一〇、四〇（大・新）經濟市況

晝

一一、三五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報
〇、〇一 晝の演藝「レコード」
一、管絃樂 歌劇「魔彈の射手」序曲 ウェーバー作曲
二、アルルの女―メヌエット― ビゼー作曲
三、アルヂエリア組曲―フランス軍隊行進曲 サンサーンス作曲
四、皇帝行進曲 ワグナー作曲
〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇〇（大・新）經濟市況
三、〇〇（大・新）經濟市況
三、二〇（東京）經濟市況
四、〇〇（東京）ニュース

夜

四、四〇 氣象通報・ニュース
五、二〇（大・新）經濟市況 ニュース「鮮語」 演藝「鮮語」
六、〇〇（大阪）子供の時間 お話 世界一週（一）アメリカの卷 百田正雄
六、二〇（東京）コドモの新聞 村岡花子
六、二五（奉天）講演 黑溝台の會戰 出口源之助
七、〇〇（東京）ニュース・告知事項・今晩の番組
七、五〇（東京）國民歌謠 愛馬進軍歌 陸軍省撰定 指導 內田榮一 合唱 帝都男聲合唱團 伴奏 東京放送管絃樂團 編曲、指揮 池讓
七、四〇（上海）講演と歌
一、講演 中支那における銃後婦人の活躍に就て 上海時局婦人會副會長 杉本爲壽子
二、歌 上海時局婦人會々歌 濱本マシ枝作詞作曲 上海時局婦人會有志
八、〇〇（東京）管絃樂未定
八、三〇（大連）歌謠曲（コロムビア會社提供レコード）誰も知らない ミスコロムビア
八、三五 昭和十三年演藝放送新人募集
一、獨唱 當選者 勝又敏信 ピアノ伴奏 岩田壽子 （イ）ブラームスの子守歌 （ロ）遙かなるサンタルチア（伊太利民謠）
二、俗曲 昭和十三年演藝放送新人募集 當選者 高島勢津子 （イ）博多節 （ロ）大津繪
三、琵琶 昭和十三年演藝放送新人募集 當選者 常陸丸 針生祐水
九、一〇（東京）時事解說未定
九、三九（東京）時報・ニュース・ニュース解說
一〇、三〇 氣象通報・ニュース・告知事項・明日の番組
一〇、四〇（哈爾濱）ニュース再放送 北滿の時間 アナウンサー荒井（朝）池谷（晝）上森、田中（夜）

續く新人放送（後八、三〇） 昨年度演藝入選者

今日の昭和十三年度入選演藝新人放送は次の方々です
一、獨唱 當選者 勝又敏信 ピアノ伴奏 岩田壽子 ブラームスの子守歌 遙かなるサンタルチア（伊太利民謠）
二、俗曲 當選者 高島勢津子 博多節 大津繪
三、琵琶 常陸丸 當選者 針生祐水

勝又敏信氏は昭和九年よりコロンビヤ專屬歌手の上野耐之、外山國彥氏に就き昨年五月より新京在住の岩田壽子さんに師事目下研究中 高島勢津子さんは五、六才頃より藝界に入り後廣島の清水興行又は大阪吉本興行で各地の舞台に立つてをられた方です 針生祐水氏は昭和二年より五年まで小山田賞水氏に就き後榎本芝水氏の門下となる渡滿後は大連、奉天の放送局より放送せし事もある方です【寫眞は上より勝又、針生、高島の諸氏】

ブラームスの子守歌

一、眠れよ、吾子なをめぐりてうるはしの花咲けば眠れ、いまはいとやすけくあした窓にといくるまで
二、眠れよ、吾子なが夢路をあまゝかい守りたれば眠れ、いまはいと樂しく夢の園にほゝえみつゝ

遙かなるサンタルチア マリオ作詞作曲

一、遠き國へと船は出て行く船人歌ふ夜の歌 夕暮の海に月は登りて入江はるかにナポリぞかすみて見ゆれ サンタルチアさらばうらかなしや 幸を求むる船路なれどナポリの月に別れゆくかなしさよ
二、いとの調べに我が手おのゝきその思出胸に滿つ・我うたへども心かなしく涙す とく歸らすん汝がもとに サンタルチアさらばうらかなしや 幸を求むる船路なれどもナポリの月に別れ行くかなしさよ
三、サンタルチアさらば汝をはなれてなつかしぞ彌まされ シレンの歌はわれを誘へど富も要らじ永久にわれナポリに死なむ サンタルチアさらばうらかなしや 幸を求むる船出なれどもナポリの月に別れ行くかなしさ サンタルチアさらばうらかなしやな

博多節

板一枚の下は地獄の船底よりも こはいわ世間の人の口 人の口には戶がたゝぬ アリアドッコイショたぬ お月さんがチョイと出ての影ハイコンバンツ

大津繪「軍國の母替歌」

心置きなく祖國の爲に名譽の戰死をしてこいと 涙も見せず勵まして 私子を送る朝の驛 散れよ若木の櫻花 男と生れ一戰場に 銃劍とるのも大君の爲 日本男兒の本懷ぢや 生きて歸へると思ふなよ 白木の棺が屆いたら出かした我子天晴れと お前を母は褒めてやる 強く雄々しく東洋の 平和の爲に 銃後を護る母ぢやもの 女の身とて傳統の 忠義の二字に變りない

學藝

新年文藝・佳作

村木老人の事ども（二）

新井翠苔

老人とラヂオ（一）

庭の植木棚には、赤い晩秋の夕日が當つてゐた。しかし部屋の中は寒かつた。

老人は、

（婆やを呼んで、ペーチカを焚く事を命じようか？）

と思つたが、

（いやいや、出來るだけ寒さには耐へて行かねばならぬ。八百吉の事を思へば、この位の寒さが何んだ！）

八百吉と言ふのは、老人の次男で、今中支戰線の第一線に立つてゐる歩兵軍曹である。

老人は、昨日、新京放送局宛に、演藝放送新人募集に應募する旨、郵便を出したのである。それには「漫談（自作自演）大同大街朝から夜中まで」としてあつた。老人の贔屓？沖川美聲にも「大東京交響曲、朝から夜中まで」といふ漫談の新作があつて、それはレコードにまで吹き込んである。

（しかし、儂のは單なる模倣ではない。儂のは儂ので、立派な創作ぢや。儂のは滿洲國の國都新京の土の中から芽を出して來た、獨自の漫談ぢや）

ところで老人、題名だけは昨日出來たのであるが、中味はこれから作るのである。中味も出來ないうちから、もう心の中でそんな氣焔を上げてゐる。

「婆やッ、電燈を點けなさいッ。」

筆が少しも進まず、老人ぢれてゐる。婆やを呼ぶ迄も無く、自分で立つて行つてスヰッチを捻れば宜いのに。

「それから、この火鉢に、もつと火を持つて來なさいッ。……氣の利かないッ……それからお茶を淹れなさい。番茶の方を。」

火の加はつた火鉢で手を焙り、濃い番茶を飲んで愈よ老人萬年ピッを取り上げた。

實は老人、あの題名では、今日になつて少なからず後悔してゐるのである。

（何うも題名が凝りすぎてゐるやうだ……大同大街、朝から夜中まで、か……新京驛の風景は是非入れにやならんし、孝子廟もさうだし、大陸科學院あたりの風景も加へねばならん。……さうさう、兒玉公園は是非入れよう。あそこには動物園があるが、夜更けの汽車の汽笛を聽いて、檻のけものが淋しがる……そこで狼か何かの嘶き聲を漫談に挿入する。イヤ、これは實に傑作である。）

老人、原作が出來もしないうちから、悲觀したり、欣んだりしてゐるのである。

下手な摺子木ほどある太い萬年ピッで、卷紙に書いたり消したり……。

老人の息子の幸藏が、日本橋通りで洋紙店を營んでゐる位で、老人、原稿用紙といふ便利なものゝあるのを知らないのではない。たゞ強情を張つて、原稿用紙を使はない。卷紙に書く。さういふ妙なところに強情を張るのが老人の趣味なのである。

老人は、漸く「大同大街、朝から夜中まで」の第七景、午後五時、千羽鴉、といふ所まで筆が進んで來た。

――兎も角も、その何千羽とも見えわかぬ、鴉、鴉の勘五郎か、桿になり、鍵になり、或ひはハーゲン・クロイツなどを描いて、國都の空に、秋の夕日を浴び舞ひ狂ふその態は、偉觀と云ふも愚か、壯觀と云ふも及ばず……

讀み返して見て、老人、ひとり會心の笑みを洩らすのであつた。

樹海に蠢く（下）

東邊道にて　藤川研一

「滿洲の寶庫」と、誰かゞ東邊道を評してゐた。私は實際にそれを證明されて、ぼんやりして了つた。山の中腹には、鐵鑛が露出してをり、無煙炭の大きな層が流れてゐる石灰は無盡藏といはれる。この寶庫を意識的に、死守してゐる匪賊でないことは明らかである。たゞ生きるといふことにのみ、追はれてゐる民衆には、無煙炭も、鐵の話も、遠い昔の譚でしかないのである。

通化省の詳細な地圖をみると、白色の個所が多い。何故か私には判らなかつた。「この大森林から向ふは白色地帶ですよ」、と説明されても未だ合點がゆかなかつた。大密林の山岳地帶即ち、森林寶庫の代名詞だ。五米先の見透しもつかぬ、密林地帶は、如何なる方法を講じても、測量が出來ず、白色として地圖上に殘されてゐるのである。

この森林地帶が彼等『共匪』の巢となつてゐる。彼等は一ヶ所に二日三日とゐることは少いといふ。一夜に二十滿里、三十滿里は平氣に移動し、自由に森林中をかけ廻り、最後のあがきを續けてゐるのである。

輯安縣に南下した楊成宇の配下二百ばかりの外は、北へ北へと追はれ、昨日（一月十七日）の匪情では、早くも吉林省に入つたといふ。討伐隊はあらゆる角度から之を追つてゐるのである。

山の雪は、淺くて二尺、胸に達する個所も少くない、如何に努力しても、その行程は一時間一粁がせいぜいである何處に何うひそんでゐるやも知れぬ彼等を、追撃する國軍の勞苦は、支那事變の皇軍に倍するであらう。

私は農民の生活が如何に不合理であるかを知つた。そこには餘りにも原始的な生活がある。「王道樂土」彼等にはその意味が呑みこめないやうだ。トウモロコシで作つた尖餅といふ、日本のユバ（豆腐を作るとき薄くはる黄色のもの）に似てゐる。その紙のやうなものが唯一の馳走である。時偶豬やノロを獲つて舌皷を打つときもあるといふ。農民は唯生きてゐる。それだけだ。

農民の放尿を數十度みた。併しすべて赤黃色の熱病患者のそれのやうだ。一人としてこの酷寒下に健康者のないことが判る。村長の眼も赤く爛れその指は松のやうである。

×

私は何う辛抱も出來ぬやうに、錯雜な氣持で、何を書いてゐるか判らぬ。歸京後、私は落着いて、あらゆる角度からみた東邊道を報告し度い。

私達の演劇慰問班の成果をこと細かに述べるより、私は東邊道の眞の姿を傳へ、如何に處すべきかを考慮することが文化人としての、吾々に課せられた任務と思はれる。

單に東邊道に限らない、各地方農民に對する吾々の處する道は、机上の論議では果されない。最近劇團は各地に移動公演を行ひ、その成果を基礎に、滿洲演劇運動の方向を決定づけやうと、努力してゐる。

新劇の戲劇のと、徒に黨派的な傾向を云々する愚かさを私は改めて檢討してみたい。日本流の演劇運動を觀念的に捨てゝ、私達は再出發せねばならぬ。

今年度こそ、今年度こそ演劇は、健全なる國家建設の先頭に立つて、活動すべきときである。全滿各地の劇友達よ！私はこの僻地より手をさしのべる。

一月十八日　於　撫松

バクゲキ欄

出直すべし
―武田麟太郎「傳説」―（『改造』一月號）

この小説を讀むと、武田といふ男もその作風に幾分の變轉を試みようとしてゐるらしいといふことが判る。しかしそれにしては、これは人々の期待を裏切るやうなそんな方向への變換なのである。

或る大きなビルディングの事務所に給仕をしてゐる少年の話である。彼はひそかにそのビルディングから見える或る小さな家に住む母と娘を望遠鏡で眺いたりして心を燃やしてゐる。やがてその家が閉ざされ、少年は憂鬱に閉されてしまふ。實はその家に住む母といふのは、少年が勤めてゐる會社の重役の妾だつた。そして娘は啞だつたと判る。少年は亡靈に誘はれるやうにその家に入り込み井戸に陷ちて死んでしまふ……何の事はない、都會式妖怪談と言つた代物なのである。

これでは往年のプロ派人情作家も困つたものであらう。彼が本質からのプロ派でなかつたのはそれでいゝ。しかし斯うした變質者心理の世界への執心にはどれ程の意義があらう。武田よ出直せ、さう激勵したくなるのである（御垣衛士）

城内

菫川千童

北滿の夜空に凛々たる寒氣が動いてる。

闇雲から覗いた　黒魔の影が　氣味悪い大きな掌を差出して　往來を行交ふ支那服を　黒く撫で廻した

城内の天は穽のやうだ――。

――此の暗黒の中に。ひつそりと泥屋根が二列に並び向ひ合つて、不安な冬の一夜を迎へるのですか。

いま。――黄色の靄に冷たく浮んだ鐵看板の文字は、何と書いてありますか？

アヘン・スウカ――

「魔舖」デスカ――

ひよッ！と、通りすがりに立止る瞎子の蒼白な老婆。莫非中毒。阿片患者！

×　×

……軈て　城壁の角を圍み

老板子　苦力　浮浪者　賭博者達の集らて雜魚寢する馬店の油紙の窓から　洋燈の灯かげが洩れる……

城内も愈よ激しい深夜です。――

（大陸詩集ノ一）　―一四・一・一―

創作

松飾り（六）

大脇一雄

「――お前は誤解してゐるんだ」

夫の語尾が、微に震へてゐる瞳を下すと、低い、靜かな口調が續いた。

「――あの人は、僕の中學校時代の友人の妻君なんだ。僕等が渡滿する一年程前からハルビンで暮してゐたが、新田の奴或る女と一所に逃げたんだよ。子供が一人あつたんだ。親に背いて夫婦になつた手前今更、捨てられました、と云つても歸られもせず、生活の爲、ハルビンの酒場で働いてゐたんだ」

夫の聲は靜かであつた。

――莫迦な、莫迦な！、繁子は、遥しい大人の世界の、激しい人波に押された子供のやうな息苦しさを感じ、ひよろひよろとよろめく體を、自分の叱醛で支へながら、――そんな、そんなと、氣張つてみるのだつた。

「――處が、夫に月の末、突然子供が、急性な感冒で死んだそうだ。一旦骨を持つて、日本へ歸つてはみたものゝ、やつぱり日本には居られないんで又渡滿して來たんだよ」

繁子は、目の前の世界が急に震動を始め、細い兩足を、強い魔力にすくはれたやうな氣がし、危く崩れさうになるのだつた。

「――で、又ハルビンへ歸つて働くつて云つてゐた。僕はせめて正月だけでも僕の所でと思つて隨分留めたんだが、奥さんに、つて遠慮して歸つてしまつたんだ。續く不幸に酒を飲んだりして、隨分捨鉢的になつてゐるけれど、氣の毒な人だよ」

兩足の力が拔け、繁子は、しなしなと崩れてしまつた。自分一人が虐められてゐるやうな氣がし、逃げ出すやうに家を出、一層――とまでもと思つてはみたものゝ、それに對する氣持も確かに定つてゐない矢先、又、かうした新場面に對し立ち向ふ氣持は、未だ整はないのである。それに今、夫の口から、自分の曲解をてひどく指摘され、よしそれが夫の一時の云ひ譯であつたにしろ、繁子の胸底に潜む少女のそれにも似た良心は、最早堪へられなくなつてしまふのであつた。

「――新田の奴、非道い奴だ」

繁子は、ガクリと首を垂れた。垂れた頭が重く、瞼が急に生溫かく潤み出した。

夫は、柱に背をもたせ、靜かな口調を續けた。

「――世の中には、そんな不幸も溢れる程あるものだよ」

ぽたり、生溫かな涙が、體の位置をくすぐるやうに、手の甲に落ちた。すると、それに搖り押されるやうに、ぽたぽたと涙が溢れた。自分の虐められたのを悲しむのでもなく、女の歸つたのを喜ぶのでもなく、女の境遇に泣く涙でもなかつた。放心に近い自分の氣持に甘え切り、故も無く落す少女の涙であつた。

「――お前が悪いんぢやないんだ。僕がもう少し早くそれを云へば――」

夫は、力の限り抱き締めたい繁子の細い肩を身近に感じ溫い手をそつとやりながら云つた。

「――繁子にも思はぬ心配をかけてすまなかつたなあ。でもあの人もまだ若いんだからこれからまだまだ幸福な日もあるだらうさ」

又雪になつた。

勝手元で年取りの用意をしながらも繁子は、女のほつそり痩せた姿態が、胸元をかすめてならなかつた。荒れた肌燒け爛れた髮の毛、酒に醉ひ死んだ子供に狂ふ母。さうした幻想が、針のやうに鋭く繁子を責め、間斷なく胸元を往來した。そして、灰色の雪の中を、とぼとぼと消えて行く女の後姿が頭一ぱいに座を占めて、涙線をぎゆうぎゆう虐めつけるのであつた。

涙が止めどもなく頬を傳ひ落ちた。生溫い感觸が體一ぱいに這ひ擴がり、ぞくぞくするものがあつた。

洗ひ物を終へ、ほつとした顔を上げると、二重の硝子窓を透した向ふに、眞白な積雪があり、繁子の熱ぽつたい瞳を刺した。雪も小降になつたらしく、雲の切れ間に、遠い夕燒が感ぜられた。

玄關側に出て、先刻屆けられた門松の飾りつけをしてゐた夫は、ぱんぱんと手を拂ひほつとした顔を上げて云つた

「――繁子、來てごらん、松飾りが出來たよ」

晴々しい聲であつた。

「――はい、たゞ今」

繁子は、放心した瞳を、ハッとして我に返すと、急いでエプロンを外し、いそいそと出て行つた。

明日から又昨年のやうな樂しい正月を、――さう思ひ、心の中に他愛もなくはずむものを覺えながら、夫の逞しい横顔をこつそりと見上げ、更めて松飾りに瞳をやつた。松飾りも昨年のやうに端正な色調をこめて伺ひ合つてゐた。

――妾不幸か知ら。

すると繁子の體の中に、少女の氣持にも似た初々しさが起き上がり、すーつと胸元を馳け上つて來て、ぽつちりと赤く頬を染め出した。松飾りの緑がすがすがし潤んだ。

「――まあ立派！」

二十二の春を迎へるのだつた。

――完――

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御惠投相成度し（係）

△ヨコハマゴムニュース（一月號）（東京市鶴見區平安町二ノ一七、横濱護謨製造株式會社、十五錢）

△正金週報（第二號）（横濱正金銀行調査課）

△滿洲婦人新聞（一月下旬號）青木氏「滿洲文藝界に何を期待するか」（大連市東公園町技術會館、滿洲婦人新聞社）

お待ちかねの二月號 二大附録贈呈
婦人倶樂部
(別冊大附録)
實用手紙上達寶典
くづし字手本兼用とても重寶!!
ろ役立つ手紙用語約三千、くづし字手本二千六百餘語を收め、どんな手紙も美しい文字で自由に書けるとても便利な婦人倶樂部苦心の新案大附録！家庭の必備書と大評判!!
お蔭様で新年號は全國賣切れ！讀者がふえる一方です。附録も記事も小説も愈々大活躍、又々偉い大評判です。
第2附録 子供服
衞生下着の實物大型紙
◎男兒用改良シャツとパンツ
◎女兒用スリップとブルマース
あゝ壯烈!!
昭和の軍神 西住大尉の母堂感激訪問
愛兒を亡くした母親の安心を得る道
男女中等學校の試驗方針と準備の仕方 座談會
橫綱玉錦涙の情愛物語 松子未亡人の手記
新婚の若夫人と井出ひろ子博士 夫婦生活心得問答
高杉早苗さんの新家庭訪問記
お料理
服部博士實驗發表 子供を骨太に肥らせる料理
ぽかぽかと温まる家庭円滿の鍋料理
美味しい酒粕料理五種
橫尾博士新研究の 醫學的美顔法發表
異常姙娠の自己診斷と豫防法 手當法
大評判小説
林芙美子先生大傑作
灯の家
戰地に送つた若き妻が敢然職業戰線に飛び込み苦難と闘ふ健氣さ！涙の波瀾突如展開！
生活費二割節約の非常時家計實例
國策強化・家庭幸福建設の体驗發表！
男性に好かれる女性の型 菊池寛
興亞の春に輝く 平沼新首相の人情物語
男子服子供服を長持させる繕ひ方講習
溫かで衞生的な新案ズロース
姙娠中の方におすゝめするコンビネーション
寒さに負けぬ子供の育て方
愛兒の教育相談
高橋海軍大將の感話
名士感話・世間繪話
婦人の力に榮える村
時事問題早わかり
女性の戰ひ 菊池寛
四季の夢 片岡鐵兵
春雷 加藤武雄
涙の責任 竹田敏彦
黑潮 川口松太郎
江戸長恨歌 吉川英治
親鸞上人 武者小路實篤
枯葉抄 武田麟太郎
ゴリラの犧牲 佐々木邦
大笑の漫談 あべこべ合戰
感激美談 この妻あり日本強し
訪問畫報 傷痍軍人の家
出征軍人 妻の日記
映畫物語「土」
奥さま私が御用聞だつたら
二大附録つき特價六十錢
お急ぎ實物を御覽下さい
發行所 婦人倶樂部 大日本雄辯會講談社

日滿兩國の風雅交へ 宮廷府假宮殿竣成 二月上旬落成式擧行

かねて御造營中の宮廷府新假宮殿はこの程竣工し、廿五日修祓式を擧行し、二月初め簡素なる落成式を擧行する運びとなつた、新假宮殿は皇帝陛下現在の御住居に充てられてゐる緝熙樓が舊權運署廳舍の一部で設備不充分で餘りにも御狹小なので、康德二年假宮殿を御造營することに決定し康德二年豫算百三十萬圓を以て起工、先月廿六日に竣成をみたもので、御質素にして莊嚴、日滿兩國獨特の風雅を巧みに織り込み、宮廷造營科の苦心と施工者戸田組の努力が遺憾なく報ひられ日滿一德一心の精神が具現化されてゐる敷地一萬坪、建物は鐵筋コンクリート及び煉瓦造二階建、地下室附でその總建築面積三千六百五十平方米（約千九十坪）高さは中央樓まで十三、五米で工事從事員總延人員は二十萬人に及んでゐる

矢追設計主任技佐謹話

新宮殿御造營工事に就て矢追設計主任技佐は左の如く謹話した

◇從來兩陛下の御住居に充當相成りまする緝熙樓は舊權運署廳舍の一部でありまして、設備不充分且つ狹少でありましたので、康德二年假宮殿御造營の議が起りまして、その豫定地につきまして種々調査研究の結果、當時の情勢より止むを得ず隣接地の兵舍及鹽倉庫に當ります約一萬坪の敷地に決定相成りました、從つて順天廣場の新宮廷府御造營完了は今後約八ヶ年の歲月を要しますので、それ迄の假御殿として總工費百三十萬圓の豫算を以て、康德二年より康德五年に亙る四ヶ年繼續事業と相成り、康德二年、三年の兩年は兵舍や鹽倉庫引込線路、滿人住宅等の移轉や外墻の新築、敷地の整備等を實施致し其の後約二ヶ年の日子を經て此の度本殿の竣成の運びに相成り、廿五日修祓式を取行せられ、廿六日宮內府へ引繼を完了致しました、實際本宮殿工事の方は康德四年四月廿一日地鎭祭を擧行し翌年四月廿七日上棟式を擧げ、爾來日支事變の影響を蒙り材料蒐集困難、勞力の拂底、輸送機關不圓滑といふ惡條件が入りましたが鋭意工事の進捗に努めました結果玆に本工事の竣成を見るに致りました、之に要しました總人員は約二十萬人を算してゐます、整理工事は青水組、木設御造營工事は戸田組の請負に相成つて居ります、主なる御部屋は候見室、大廣間、御謁見室、御饗宴室（兼室內御運動室）御談話室、植物室、御書見室、和風書院、撞球、理髮、日光浴室、映畫室、これに御臣間、御寢室でございますが、探光、衛生には充分留意致しました次第で御座居ます、特に先般御訪日御回鑾後日本間を增築する樣御仰出されまして東方に一室を模樣替へし、狹い乍らも和風庭園を巡らし周圍の調和には充分研究致しました、工事中も再三御巡覽遊ばされ御滿悅の御模樣洩れ承りまして誠に恐懼感激して居ります、庭園は西洋風と東洋風との長所を平用調和に努め、一部に御愛好の御馬場とテニスコートを設けてあります、構造は鐵筋コンクリート及び煉瓦造で耐久耐火的で室內の構造手法及び裝飾等又愼重にその室の用途に從ひ研究致しました、勿論防空施設に付きましては關係當局の指圖を仰ぎ萬遺憾無きを期した次第でございます、建物內外諸般の設備につきましては暖房換氣、冷房、衛生等の機械的諸設備、照明、電話、電鈴、非常警報、蓄電等電氣的諸設備に至る迄努めて整備を期した次第でございます、建築材料は構造材及び外部仕上等出來る限り滿洲產を使用する方針とし化粧材及び室內裝飾、機械設備材料は日本產を使用致しました、特に滿洲特產の緘給につきましては全滿各地より謹製を御願ひしました、之により斯業奬勵の一助と相成つたと信じて居る次第でございます、以上の如く全部日滿兩國產品を使用致しました次第でございますが、意匠も獨自の創案を、兩國材がしつとりと融和結合して出來上つて居りまして日滿一德一心」の具現化こそ御聖旨に仰へ奉る所以であると心得て居る次第であります、また本工事作業場は日常兩陛下の御住居と僅か十數米しか離れて居りませんでしたが、工事期間の玆四ヶ年間、只の一度も不敬な事や事故もなく今日の竣工を見るに到りました事は一に建國神靈の御加護によるは勿論、監督職員を始め請負從業者の終始謹直一貫、精勵努力せられました賜でありまして工事に直接責任を持つ私と致しまして玆に衷心より感謝致して居ります次第でございます

直ぐ用ひたこの手 湯錢値上します 水道料金改正を理由に 一回十錢也を組合が願出

新京湯屋同業組合では、昨年來よりの燃料他諸材料の物價騰貴と本年一月より實施の水道料金値上げを理由に、入浴料金の改正方を二十六日中央、通署を經て首都警察廳に請願したが、改正料金は從來大人一人につき八錢の入浴料を十錢に引上げ、今まで無料であつた乳兒の料金を三錢とし、民族協和の實踐上一人につき十五錢であつた外國人の入浴料金を日本人同樣十錢に取扱ふ外、一圓につき十三枚であつた湯札を十一枚に減じ、小人と洗髮の料金のみを從來通りとするのであるが、業者側の言ひ分を訊くと既に數軒の廢業者も出してをり、これが救濟は上記のやうな値上料金でないとやれないと窮狀を訴へてゐるが、頻々たる各種料金値上請願のある折柄、當局がどんな裁斷を下すかは直接市民の生活に影響のある問題だけに注目されてゐる

これはその反對 割增料廢止 南嶺、東新京行の豆タク

郊外居住者への朗報豆タク新京國產自動車株式會社では從來南嶺（至聖大路以南）及び東新京（伊通河以東）方面行の乘客に對してはメーター料金以外に金二十錢の割增料金をとつてゐたが、最近國都の躍進に伴つて郊外方面の諸道路は完備し自動車運轉上の支障困難も著しく輕減したので諸物價騰勢の折これに逆行し割增料金全廢を斷行することゝなり、舊臘十七日首都警察廳に認可願出、爾來審議中であつたが、二十六日認可となつた

次代國民作る教育も 日滿兩國協和せよ 關屋學校組合長職員に訓示

新京特別市日本學校組合は去る二十三日市公署教育科內に移轉したが、關屋組合長はこれが移轉に伴つて廿六日午前十一時教育科員及び組合職員に對し左の如く訓示して日滿兩教育界の協和を望んだ

協和と言ふことは理論でなく實際である、頭で考へて計畫することでなく全身全靈を以てこれを感じこれを實行して行くことである、この意味に於て協和の國滿洲國の次代を作るところの教育事業に於ては同じ藥籠の裡に同じものを感じ同じ點を見詰めて進むと言ふことが、今日非常に必要である、日系滿系の教育行政系統が組織の上で分れてゐるとは止むを得ざる當分の必要であるけれども究極の精神は決して玆にないとは申すまでもない、仍て今回市廳舍の增築なつた機會を以て市教育科と學校組合事務所とを同室に集めたのであるそ、この一室で同じ空氣を吸つて教務を執る裡に一兩系統の教育事業が常に同一點を見詰めて進むと言ふことになり、さらにこの姿勢は必ずや各學校に影響をして新京の全教育界の一元的精神をもたらすものと信ずる、決して單なる事務室の移轉ではないのである、私が特に副市長として學校組合長として一場の訓示を行ふ所以はこゝに在る、狹隘であつて諸君には聊か氣の毒であるが、以上の點をよく諒解して私の目的とするところに向つて協力して進んで貰ひたい

度量衡展好評

廿五日蓋を開けた寶山百貨店で開催の〃度量衡展覽會〃は日常に吾々の日常生活上密接な關係を持つものであり人氣を呼んでゐるが、二十五日の入場者は二千五百名、二十六日はちよつと下つて千五百名場內で製作即賣してゐる體溫計及び物尺は物珍しく注目を引きその賣上は二十五日六十圓、二十六日は百圓と言ふ賣行である、期間も餘すところ後五日間、絕好の機會に是非と學校その他各團體の來場を待たれてゐる、倘權度檢定所では場內に出張して體溫計及び棒狀體溫計の無料檢定を

飛行機練習再開

來る二月二等飛行士受驗のため零下卅度の酷寒を衝いて猛練習をつゞけてゐた滿洲飛行協會新京支部飛行機練習會員は本年初より練習を休み、ひたすら學科習得につとめてゐるが、來る三十日より再び飛行機による實地練習を開始することになつた、なほ本年最初の試みたるグライダー多期練習は豫想外の好績を收め幾多貴重なる資料を得たので二月初旬より再び練習開始の豫定である

行つてゐるから希望者は持參されたいと

滿洲土俗を語る 商工公會座談會

新京商工公會調査科では滿洲における土俗に關する調査或は研究が一般に徹底普及しないのを遺憾として、これが研究に先べんをつけて民族協和の一端に資すべく廿六日午後六時より各特殊會社々員有志官廳方面の同好研究家を集め滿洲土俗學の泰斗たる滿洲事情案內所長奥村氏を招聘、中央通同公會相談所に「滿洲土俗に關する物を聽く座談會」を開催、啻に土俗のみならず民俗、風習、習慣、滿人獨特の金融形態、人情、更に滿洲における產業經濟等に關して眞摯な座談會を催したが右座談會記錄は近く發刊される同會月報に詳細掲載される

國民の熱望に應へて 使節報告會開催 二月中旬國都を振出に各地で

醜程萬里世紀の重大使命を果して歸滿第一步を大連に印した滿洲國訪歐使節團一行は愈々來る廿八日午後五時廿分國都市民の熱狂的歡迎裡に晴れの國都凱旋をなすが、協和會では萬邦協和の精神を以て國威を中外に宣揚した一行の偉大な功績に對し感謝の意を表するため、來る卅日午後三時から協和會館で使節團歸朝慶祝大會を催すほか、待望久しき一行の颯爽たる英姿に接したしとの國民的熱望に應へるため二月中旬協和會館において使節團歸朝報告會を催し、更に使節團一行を數班に分ち哈爾濱、奉天、吉林、齊々哈頭、安東、錦州等の主要都市を訪問せしめ協和會主催の下に盛大なる歸朝報告會を催すべく目下中央本部において政府と折衝種々準備中であるが一行の地方訪問は二月下旬になる模樣である

防犯對策の第一步 隣人愛もて進め 首警先づ家庭婦人に呼懸く

廿一日白晝アパート蘭花莊の母子殺害事件、續いて惹起した廿二日の祝町三丁目泰正號に侵入した大膽不敵な拳銃強盜事件は國都市民に異常なる衝動を與へ、これを契機として當局の常に警告を發してゐた各家庭に於ける自警、自戒の防犯對策は現實に吾々の問題なりと、かつての對岸の火災視から目覺め眞劍に考へられ、早くも町會、協和會分會等各團體に於てもこれが對策研究の機運を釀成しつゝあるが、首都警察廳司法科防犯股ではこの機會に防犯の徹底を期するため各家庭に呼びかけ積極的に働らきかけることゝなつた、即ち官廳、會社に勤務する者の多い國都に於てこれ等住宅街の各家庭ではいづれも家庭を守るものは主婦であるが、既往の犯罪を省みて隣家の慘劇も知らないで吾關せずと云ふ冷たい風習は現實の國都住宅街に於ける與樣氣質であり、かゝる誤つた植民地的氣質は防犯上決して完璧を期すものではなく、家庭を守るものゝ可弱い女であればある程かうした弊風は速かに一掃し隣保共助の溫かい隣人愛に立ち還へらねば如何なる防犯對策も一片の反古にしか過ぎないものである、かうした見地に立つ當局では主婦の覺醒を家庭の防犯は主婦の手でと今後の防犯對策を婦人團體に呼びかけることゝなり、目下具體案に對し考究中であるが、近く何等かのことゝなつて現はれるであらう

オーバー盜まる

市內入船町新京會館石塚禎男氏は二十四日より自宅廊下にかけてあつた鼠色ラクダオーバー（時價七十圓）を何者かのために窃取されたことを二十六日に氣付き中央通署に屆出た

歡迎の花束咲く 華やかな驛頭 日本氷上選手昨夜國都入り

滿洲國スケート界の超豪華版として舊臘中より市民待望の日滿交驩氷上競技大會は愈よ二十八、九兩日兒玉公園スケート場に於て盛大に擧行されるがこの晴れの大會に日本代表として出場する名譽の男女選手役員卅五名は大日本スケート競技聯盟專務理事兩角政人氏に引率され、日頃の練習に雪やけの顏も溌溂と日本女子スケート界の明星稻田、中川の諸孃も交へ元氣に二十六日午後九時四十五分（十分延着）ひかりで新京驛に到着した、驛頭出迎への齋藤兼吉氏北村體聯新京事務局主事以下中島京商教諭の率ゆる京商滑氷選手、酒井教諭引率の敷島高女滑氷選手外多數に挨拶をなし北村主事より歡迎の花束をうけ日滿兩國の萬歲の三唱の後直ちに宿舍ホテルに入つた、なほ一行は二十七日午前十時宿舍を出發、新京神社に參拜の後關東軍司令部副官部大使館敎務部、同參事館、忠靈塔、國務院、民生部、協和會市公署を訪問、それ〴〵來滿の挨拶をのべ午後三時より兒玉公園スケート場にて輕い練習を行ふ豫定である

自信を語る 兩角監督

引率者兩角氏は旅のつかれの色もなく元氣に自信の程を語る

是非來て見たいと思つて居たスケート滿洲に來る機を得て大變うれしく思つてゐます、憧れてゐただけに皆ハリ切つてゐます、身體の具合も皆上々必ずや皆さんの御期待に添へることゝ思ひます

明星寒さを語る

日本スケート界のホープ稻田中川兩孃は語る

稻田孃—寒いところね、滿洲つて、耳がちぎれるのかと思つて一生懸命手でおさへてゐました、こんなに寒くて滑れるかどうかわかりませんよ、寒いからと云つてよけいに着れば身體の自由がきかんし困つたね、でも何とかなるでせう……と流石はオリンピックの檜舞臺にもまれた丈け至極のんびり自信の程をほのめかしてゐた

中川孃—私は苫小牧ですから零下二十度位の屋外リンクで練習してゐるので寒さには堪へられると思ひますつて、今年はすばらしい出來ですつて、はづかしいわ幸身體の調子もいゝからうんとがんばつて見る積りです

日本に遊佐ありと世界の馬術界を驚倒させた遊佐幸平少將が滿洲國馬政局長に就任滿洲入りすることに對し▼四千萬民双手をあげて歡迎してゐるがこの中でも人一倍喜んでゐる人に阿久津飛行協會主事がある▼閣下とは騎兵學校時代共に教官をやつたこともあり同氏の事はよく心得てゐるが馬にかけては日本一だ日本一は即ち世界一といふことになるからね▼大したものを滿洲國は掴んだものだと獨り悅に入つてゐるが、その友情の美しさにほろりとさせられる

上田艦政本部長

【東京國通】海軍艦政本部長海軍中將上田宗重氏は本月はじめ風邪のため市內中野區本町通六ノ三の自邸で靜養中のところ廿六日午前六時半急性肺炎にて逝去した、享年五十六、葬儀は廿九日午後一時より青山齋場にて氏家中將葬儀委員長となり海軍葬儀をもつて執行される、故中將は昭和十一年十二月以來艦政本部長兼將官會議議員に補せられ今回の事變に際しては大本營海軍部員として無條約時代の海軍々備の內容充實等に實績をあげその清廉潔白なる人格と高邁なる識見をもつて部內から絕大な信望をあつめてゐた、明治三十八年海軍機關學校を首席卒業、將來を刮目されてゐた人である

故鈴木國通記者追悼會

廿六日は北支正太線測石鎭で報道戰線の華と散つた國通並に同盟太原支局長故鈴木二郎君の一周忌に當るので、滿洲國通信社では午後二時から會議室に森田社長以下全社員參集、正面に鈴木君の寫眞を飾り嚴かな追悼會を催したが、森田社長の挨拶後經王寺僧侶の讀經についで一同燒香をなし追憶談に思ひ出を新たにして同三時半散會した

黑田伯を中心に座談會開催

滿日文化協會では國際文化振興會理事黑田清伯の來京を機とし二十六日午後六時半から中銀俱樂部で同伯を中心に在京文化關係者を加へての座談會を開催した

平壤牛皮商の惡支配人逃走

朝鮮平壤府將別里一八二李聖河（二七）＝假名＝は昨年一月より同府鹽店里一五四牛皮貿易商富一商會に入店、支配人として牛皮の賣買及び金錢出納その他重要事務を擔當してゐたのを奇貨として、五月から去る八日までの約半歲に亙つて同店の融通資金二十三萬圓を騙取し、同日會社の使だと稱し店主蔡根培の實弟平壤府居住反物商蔡根性から六百圓を詐取、その足で逃走姿を晦したが、二十六日首都警察廳に搜查方手配あつた

滿洲國郵便貯金の鮮內拂戾取扱

【京城國通】從來內地朝鮮の郵便貯金は滿洲國內でも拂戾を受けることが出來たにも拘らず、滿洲國の貯金通帳では內地、朝鮮で拂戾を受け得ないことになつてゐたが、遞信局では二月一日より全鮮の郵便局所において滿洲國郵便貯金の拂戾事務を取扱ふことゝなつた、これで郵便貯金にも鮮滿一如が一步押進められるわけだが、取扱の範圍はつぎの通りである

一、通常貯金の通常拂戾
二、現在高證明濟金額の即時拂戾、但し一日三百圓迄とす
三、各種の請求及び屆出の受理、但し預け人原簿移替、拂戾金戾入及び證券保管に關する請求はこれを受理せず）

けふの天氣　南西の風晴後曇
きのふの氣溫　最高零下一一度二　最低零下二三度九

若殿膝栗毛（わかとのひざくりげ）

（二百四十四）

（上海道上映）中川雨之助　竹杖一郎畫

人違ひ

そこへ、乾兒が來て、

「ねえ、親分、變なお武家が、二人づれで、やつて來ましたぜ」

「朝つぱらから、渡り鳥の浪人だらう。チエツ、縁喜でもねえ」

茂兵衛は、顔をしかめた。

「渡りの浪人にしちや、少し様子が違つてますぜ。親分にお目にかゝりてえといふから、お名前はつて訊ねると、お目にかゝつてからでねえと、申上げられねえつて、斷らなんですからね。そして、嫌にヂロ／＼家の中を見廻しやがつて、なんだか、薄ツ氣味の悪い奴ですよ」

「ふむ――？」

茂兵衛は、啣へた煙管を噛んでチツと啣へた。

「ねえ。やつぱり、親分か違つて邂逅ひませうか」

茂兵衛は首を振つて、

「いや、待て／＼、なにか、込入つた用かも知れねえ、兎に角、會つてみようから、こつちへ通すがいゝ。だが、油斷をしれねえやうにな」

「へい、合點でござんす」

乾兒が去ると、間もなく二人は案内されて來た。家に居るだけの乾分は、みな警戒の眼を光らせた。

しかし、二人は、江淵に本名を名乗らなかつた。出鱈目を名乗つて、主客の間に、一と通りの挨拶が終つた。

「實は、付かぬことで、お伺ひをしたが、貴宅へ近頃、女を連れた浪人が、足を留めて居るといふ噂だが……」

「その浪人は、只今在宿でせうか」

二人の眼に、何となく殺味があつた。茂兵衛、これは只事でないと見て取つた。

「おつしやる通り、ツイこの間から、お世話を申上げて困る方があります、が、一體あなた方は、あの軍平さんと、どういふかゝはりのあるお方でございますかね」

「えッ、軍平……？」

二人は、ちよつと、意外の眼を見合した。

「名前は、軍平と申して居りますか」

「さうです。軍平ですよ」

軍平なぞと、英之助が假名を使つてゐるのだ、と、二人は、それにしてしまつた。

「ところで、妹の名は、何と申して居りますな」

「え。妹ですつて……？」

今度は、茂兵衛の方が解らなくなつてしまつた。

「旦那方は、何か、お間違ひをなすつてゐらつしやるのではございませんか、あれは妹ぢやございません。軍平さんの御新造でございますよ」

「えツ、御新造……？」

今度は、また二人の方が解らなくなつてしまつた。

しかし茂兵衛にしてみれば、只困るといつて泣きついて來た瓢箪の浪人を、助けてやつた、といふまでのことで、軍平とは、別段に深い義理關係の有る仲ではなかつた。それに、二人の武士の様子を見ると、何か勘違ひをしてゐるのではないか、といふ疑ひも十分にあつた。

そこで、兎も角も、當人の軍平と、突き合せて證るのが、一番早解りがしていゝだらうと思つた。

「オイ、軍平さんに、ちよつと、來て貰つてくれろ」と、茂兵衛は乾兒に命じた。二人の武士が這入つて來た時、軍平は、いつものやうに、香具をつれて歩きに出て行つた後であつた。